柏原市文化財概報１９９９—Ⅰ

柏原市埋蔵文化財発掘調査概報

１９９９年度

２０００年3月

柏原市教育委員会

はしがき

柏原市は、大阪中央部東部の生駒山地南端部の山地と低丘陵地が市域の大半を占め、市域の中央部に大和川と石川が流れていることから風光明媚で起伏の多い地域である。

市域は、旧石器時代から現在まで途絶えることなく人類が生活した痕跡があり、歴史の重復した遺跡が見られ、古代の住環境として恵まれている。今日、市民生活の低成長時代の到来になっても、旧家屋の建替えや新規住宅の建設、淡路・阪神大震災の体験による対策、住宅関税の低率も手伝っても個人住宅が顕著に建設される。

本年の調査も市内域遺跡の主要な遺跡群で遺構・遺物が検出され、新たな柏原市の歴史を埋める研究資料が出土した。その成果を本書で報告するものである。

最後に、調査及び報告書作成にあたり、関係各位にご理解とご協力を頂いたことに感謝すると共に今後ともご理解賜りますようお願い申し上げます。

平成１２年３月

柏原市教育委員会
教育長　舟　橋　清　光

例　　言

1．本書は、平成11年度に柏原市教育委員会が国庫補助事業（総額1,600,000円、国補助率50％、府補助率25％、市負担率25％）として計画し、社会教育課文化係が実施した柏原市内遺跡群緊急発掘調査概要報告書である。

2．発掘調査は、柏原市教育委員会社会教育課文化係北野　重、石田　成年を担当者とし、平成11年4月1日から平成12年3月31日に終了した。

3．本書には、平成11年1月25日から同年12月13日までに着手した土木工事に伴う事前発掘調査の内18件の概要とその他の調査の一覧を掲載した。なお、この期間内に文化財保護法第57条ー2および3に基づく届出・通知がなされたものは315件、その中で発掘調査を実施したものは37件、国庫補助事業として実施したものは23件である。

4．本書の編集は、北野が行い、執筆は北野が担当した。

5．調査整理の参加者は下記のとおりである。

隱木　譲　橋谷　和夫　柳谷　好子　川端　隆　安村　俊史　石田　成年
寺川　款　谷口　京子　奥野　清　分才　隆司　堀　定夫　阪口　文子
槙原美智子　新田太加茂　尾野　絹江　冨田　郁子　乃一　敏恵　有江マスミ
松本　和子　山元　允子　橋口　紀子

目　　次

１９９９年度柏原市内遺跡群発掘調査一覧
第１章　大県遺跡・大県廃寺……1
大県99－１次調査……2
大県99－２次調査……3
大県廃寺99－１次調査……4
第２章　大県南遺跡……5
99－１次調査……5
第３章　安堂遺跡……6
99－４次調査……7
第４章　平尾山古墳群……8
99－２次調査……9
第５章　玉手山遺跡・原山遺跡……10
玉手山99－２次調査……11
玉手山99－３次調査……12
原山99－１次調査……13
第６章　田辺遺跡……14
99－１次調査……15
99－２次調査……16
99－３次調査……17
99－５次調査……18
99－６次調査……19
99－８次調査……20
99－９次調査……21
99－11次調査……22
99－12次調査……23
報告書抄録

挿　図　目　次

図－１　大県遺跡・大県廃寺・大県南遺跡調査対象地位置図……1
図－２　９９－１次調査調査区位置図……2
図－３　９９－１次調査平面図・断面図……2

図－４　９９－２次調査調査区位置図 ……3
図－５　９９－２次調査平面図・断面図 ……3
図－６　大県廃寺９９－１次調査調査区位置図 ……4
図－７　大県廃寺９９－１次調査平面図・断面図 ……4
図－８　９９－１次調査調査区位置図 ……5
図－９　９９－１次調査平面図・断面図 ……5
図－10　安堂遺跡調査対象地位置図 ……6
図－11　９９－４次調査調査区位置図 ……7
図－12　９９－４次調査平面図・断面図 ……7
図－13　平尾山古墳群調査対象地位置図 ……8
図－14　９９－２次調査調査区位置図 ……9
図－15　９９－２次調査平面図・断面図 ……9
図－16　玉手山遺跡・原山遺跡調査対象地位置図……10
図－17　９９－２次調査調査区位置図……11
図－18　９９－２次調査平面図・断面図……11
図－19　９９－３次調査調査区位置図……12
図－20　９９－３次調査平面図・断面図……12
図－21　原山遺跡９９－１次調査調査区位置図……13
図－22　原山遺跡９９－１次調査平面図・断面図……13
図－23　田辺遺跡調査対象地位置図……14
図－24　９９－１次調査調査区位置図……15
図－25　９９－１次調査平面図・断面図……15
図－26　９９－２次調査調査区位置図……16
図－27　９９－２次調査平面図・断面図……16
図－28　９９－３次調査調査区位置図……17
図－29　９９－３次調査平面図・断面図……17
図－30　９９－５次調査調査区位置図……18
図－31　９９－５次調査平面図・断面図……18
図－32　９９－６次調査調査区位置図……19
図－33　９９－６次調査平面図・断面図……19
図－34　９９－８次調査調査区位置図……20
図－35　９９－８次調査平面図・断面図……20
図－36　９９－９次調査調査区位置図……21
図－37　９９－９次調査平面図・断面図……21
図－38　９９－11次調査調査区位置図……22

図－39　９９－11次調査平面図・断面図……22
図－40　９９－12次調査調査区位置図……23
図－41　９９－12次調査石敷１・２平面図……23
図－42　９９－12次調査平面図・断面図……24

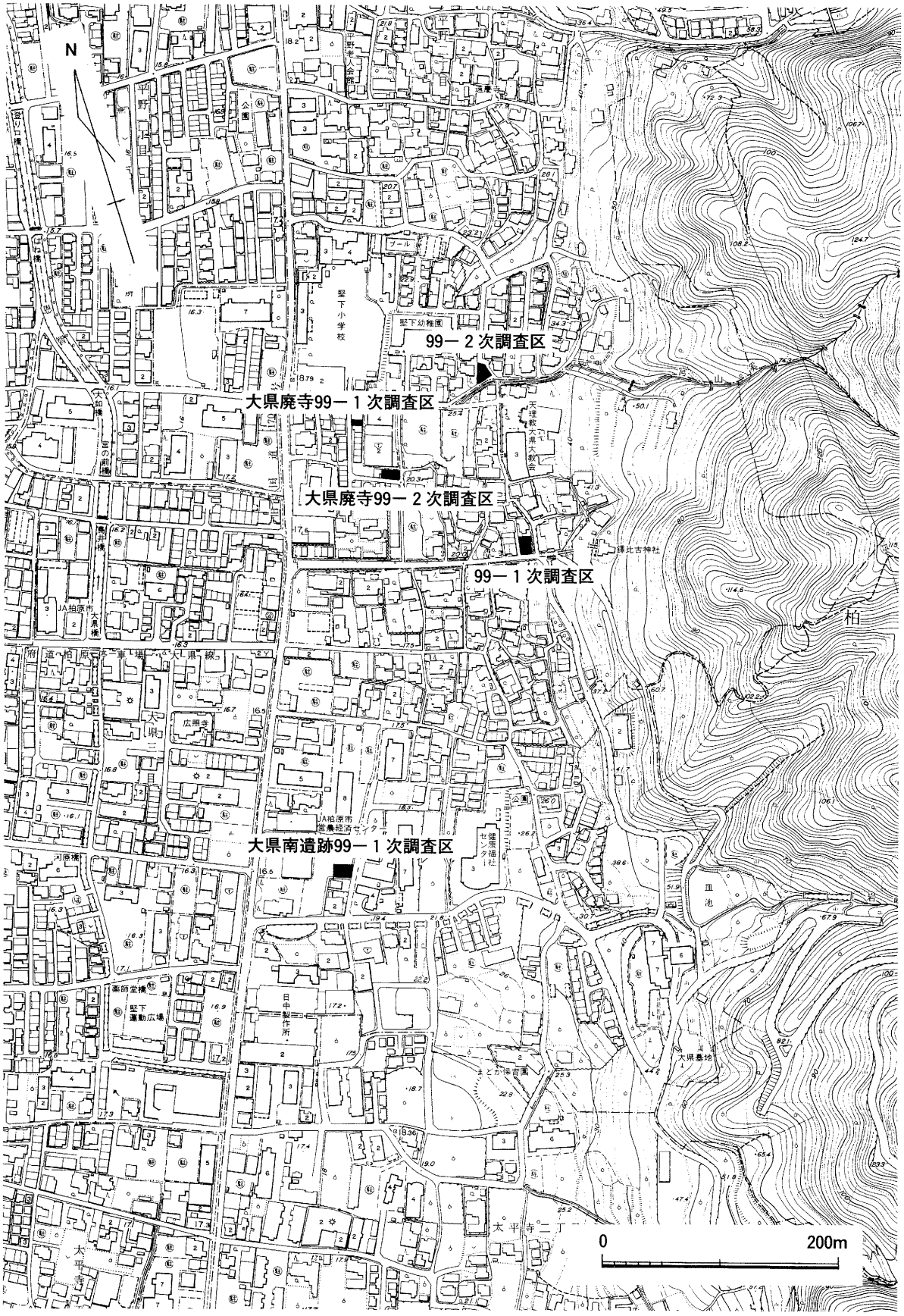
図　版　目　次

図版－１　大県遺跡９９－１次調査（全景、全景）
図版－２　大県遺跡９９－２次調査（全景、土層断面）
図版－３　大県廃寺９９－１次調査（全景、全景）
図版－４　大県南遺跡９９－１次調査（全景、全景）
図版－５　安堂遺跡９９－４次調査（全景、土層断面）
図版－６　玉手山遺跡９９－２次調査（全景、全景）
図版－７　玉手山遺跡９９－３次調査（全景、全景）
図版－８　玉手山遺跡９９－３次調査（落ち込み、落ち込み）
図版－９　原山遺跡９９－１次調査（全景、土層断面）
図版－10　田辺遺跡９９－１次調査（全景、土層断面）
図版－11　田辺遺跡９９－３次調査（全景、全景）
図版－12　田辺遺跡９９－５次調査（全景、全景）
図版－13　田辺遺跡９９－６次調査（全景、全景）
図版－14　田辺遺跡９９－８次調査（全景、全景）
図版－15　田辺遺跡９９－９次調査（全景、全景）
図版－16　田辺遺跡９９－11次調査（全景、全景）
図版－17　田辺遺跡９９－11次調査（土層断面、土層断面）
図版－18　田辺遺跡９９－11次調査（遺物出土状況、遺物出土状況）
図版－19　田辺遺跡９９－12次調査（全景、東半部）
図版－20　田辺遺跡９９－12次調査（石敷－２）
図版－21　田辺遺跡９９－12次調査（土坑－１、ピット－４）
図版－22　田辺遺跡９９－12次調査（土層断面、土層断面）

1999年度柏原市内遺跡群発掘調査一覧表

遺跡名	番号	所在地	対象面積	申請者	用途	担当	着手日	終了日	備考
玉手山	99－1	旭ヶ丘1－5222		(株) アクティー	擁壁	石田	990114	990114	遺構遺物なし
石川町遺物包蔵地	99－1	石川町455－1、455－2、455－3	7897.01	筒中プラスチック工業（株）	工場	石田	990125	990125	遺構遺物なし
大県南	99－1	大県4丁目362－5、6	178.00	小西　利子	個人住宅	北野	990125	990127	本書掲載
玉手山	99－2	旭ヶ丘1丁目506－4	158.67	谷元　輝之、谷元　博美	個人住宅	北野	990126	990126	本書掲載
田辺	99－1	国分本町6丁目695－1の一部	130.07	辻野　泰男	個人住宅	北野	990128	990128	本書掲載
平尾山古墳群	99－1	太平寺～安堂	4193	大阪府八尾土木事務所	ダム建設	安村	990303	990316	土師器少量出土
安堂	99－1	安堂町942－4	444.63	山下　幸二	共同住宅	石田	990304	990311	弥生・奈良時代の遺構・遺物を検出
大県南	99－2	大県4丁目557－4、589－1の	1749.92	高井興産（株）	宅造	石田	990309	990309	遺物包含層を確認
田辺	99－2	国分本町6丁目802－2、802－1の一部	258.77	浅井　康夫、路美子	個人住宅	北野	990308	990308	本書掲載
平尾山古墳群	99－2	雁多尾畑2279、2278、2283	594.98	椀田　忠彦	個人住宅	北野	990310	990310	本書掲載
田辺	99－3	国分本町6丁目3－9	389.24	角野　正明	個人住宅	北野	990315	990317	本書掲載
平尾山古墳群	99－3	雁多尾畑1784他	61667.3	柏羽藤環境事業組合	一般廃棄物処分場	安村	990318	990329	溝1条、土師器少量出土
田辺	99－4	田辺2－1174－1、1175一部他9筆	463.41	小原工業（株）	事務所	石田	990420	990420	遺構遺物なし
田辺	99－5	田辺2丁目10－16	138.18	滝本　博	個人住宅	北野	990419	990419	本書掲載
原山	99－1	旭ヶ丘3丁目9－11	168.91	櫂原　進	個人住宅	北野	990506	990506	本書掲載
田辺	99－6	田辺1丁目1011、1012	446.25	青山　士郎	個人住宅	北野	990507	990507	本書掲載
田辺	99－7	国分市場2丁目	385.84	文野　浩伸	個人住宅	北野	990520	990520	遺構遺物なし
田辺	99－8	田辺2丁目1293－3	79.33	三木　利達	個人住宅	北野	990603	990603	本書掲載
大県廃寺	99－1	大県4丁目215－11	55.15	坂口　貞夫、坂口亜希子	個人住宅	北野	990604	990604	本書掲載
玉手山	99－3	片山町157－6、169－3	144.58	三木　一	個人住宅	北野	990608	990608	本書掲載
安堂	99－2	安堂町924－1、2	475.77	山下　京子	共同住宅	石田	990618	990618	遺構遺物なし
大県	99－1	大県4丁目5－5	111.95	畠山　善行、左千夫	個人住宅	北野	990621	990621	本書掲載
田辺	99－9	田辺1丁目1101、1105、1117－1、－4	229.49	稲山　公一	個人住宅	北野	990723	990723	本書掲載
山ノ井	99－1	山ノ井町616－5	883.19	池島塗装（株）	工場	北野	990726	990726	遺構遺物なし
田辺	99－10	田辺2丁目2085－3、2086－5、2086－9	120.47	清水　建男	個人住宅	北野	990819	990819	遺構遺物なし
田辺	99－11	国分市場1－6－1－2－505	72.77	山本　充	個人住宅	北野	990909	990909	本書掲載
船橋	99－2	古町3丁目447－1の一部他	2165.83	辻野　元祥	老人保険センター	安村	991018	991018	遺構遺物なし
玉手山	99－4	旭ヶ丘2丁目4－32	286.16	第1区長会会長　井村　俊次	集会所	北野	991026	991026	遺構遺物なし
玉手山	99－5	円明町225	43.19	柏原市長　山西　敏一	公衆便所	安村	991028	991028	遺構遺物なし
安堂	99－3	安堂町338－17	64.94	庄井　康	個人住宅	北野	991028	991028	遺構遺物なし
安堂	99－4	安堂町263－3、261－1の一部	135.21	大野　一也	個人住宅	北野	991029	991029	本書掲載
大県	99－2	平野2丁目218－3	124.2	植田　佳明	個人住宅	北野	991110	991110	本書掲載
船橋	99－1	古町3丁目地内	1403.8	柏原市長　山西　敏一	公共下水道	安村	991122	991125	遺構遺物なし
原山	99－2	旭ヶ丘3丁目4781－8	298.1	笠松　信一	個人住宅	北野	991125	991125	遺構遺物なし
平尾山古墳群	99－4	平野地内	3572	柏原市長　山西　敏一	仮設道路	安村	991201	991206	遺構遺物なし
田辺	99－12	田辺2丁目1237－3、－4	365.98	松本多磨枝	個人住宅	北野	991213	991228	本書掲載
大県廃寺	99－2	大県4丁目70－2の一部他	106.56	石幸　正充	個人住宅	石田	991224	991224	遺構遺物なし

第１章　大県遺跡・大県廃寺

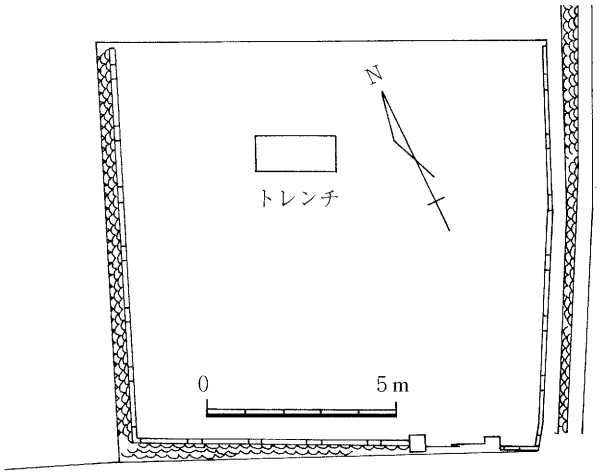


図－１　大県・大県廃寺・大県南遺跡・調査対象地位置図

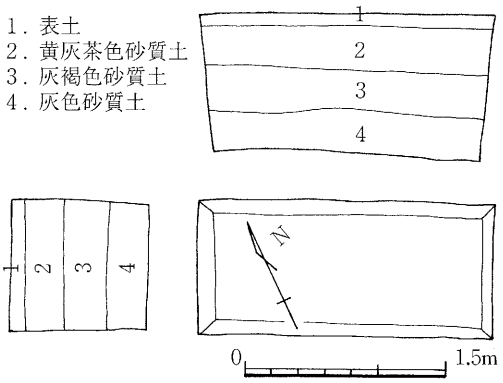
大県遺跡99－1次調査

・調査対象地　　大県４丁目5－5
・調査期間　　1999年６月21日
・調査面積　　2.2㎡／111.95㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、鐸彦・鐸比売神社参道の階段手前にあり、標高約30.0m付近の地点である。やや急な斜面地に西側に石垣を施し盛土して平坦地を造成している。当該地内に1.0×2.2mのトレンチを１ヶ所を設定した。土層は、第１層表土（0.1m）、第２層黄灰茶色砂質土（0.3m）、第３層灰褐色砂質土（約0.3mで5～10cmの礫を少し含む）、第４層灰色砂礫土（0.3m以上で5～10cmの礫を多く含む）で約1.0mまで掘削した。第１層は旧家屋の解体時の土層である。第２層は、旧家屋造成時の整地層である。第３、４層は、いずれも湧水が多く谷筋部であることが分る。遺構遺物は検出されなかった。



図－２　９９－１次調査調査区位置図

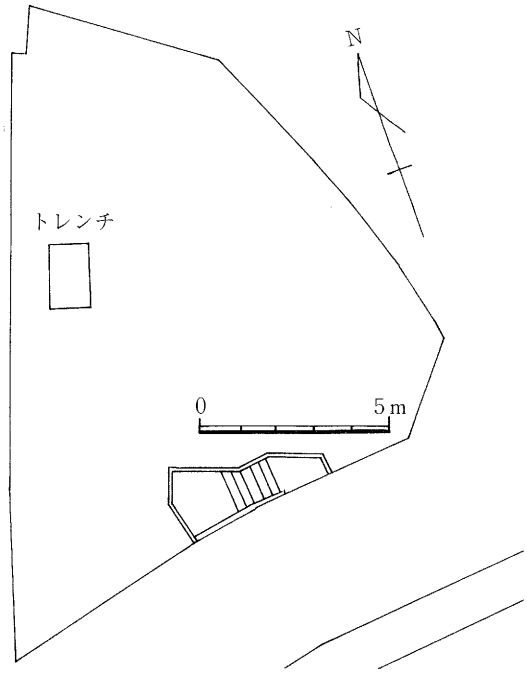


図－３　９９－１次調査平面図・断面図

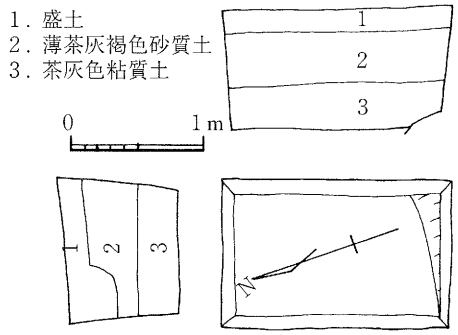
大県遺跡99－2次調査

・調査対象地　　平野２丁目218－3
・調査期間　　1999年11月10日
・調査面積　　1.8㎡／124.2㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、大県遺跡中央部の宮川渓の根幹部分にあたり、標高約30mあたりの丘陵部である。当該地の北西部に1.1×1.7mのトレンチを１ヶ所を設定した。地表下0.9mまで掘削し、一部地山を確認した。土層は、第１層盛土（約0.2m）、第２層薄茶灰褐色砂質土（約0.4m）、第３層茶灰色粘質土（約0.4m）である。第２層は、耕作土又は徐々に堆積した土層である。第３層は、大きな溝又は谷筋の埋土で埋土中に細かな砂層が見られる。溝又は谷筋は、真東方向から北西方向への流れが見られ、その縁辺部である。この土層は湧水が多く粘性が強い土層である。地山は、緑灰色粘質土又は茶灰色砂礫土である。　遺構と遺物は、検出されなかった。



図－４　９９－２次調査調査区位置図



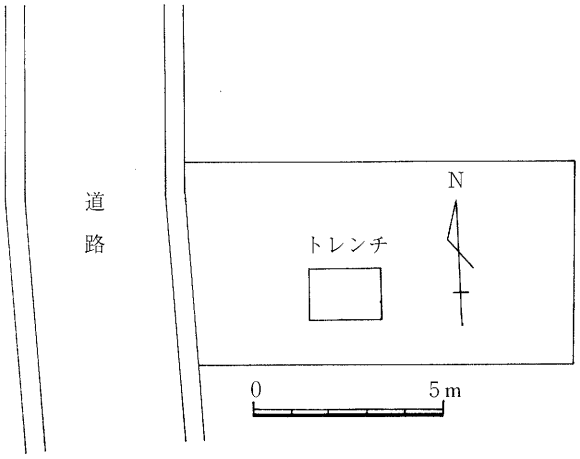
図－５　９９－２次調査平面図・断面図

大県廃寺遺跡99－1次調査

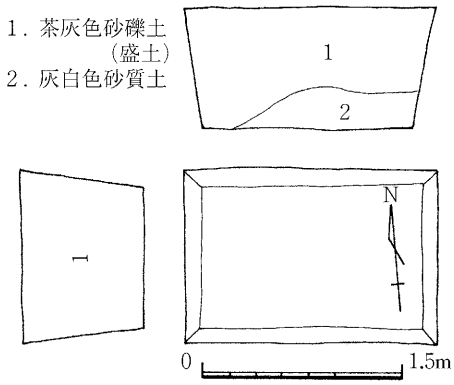
・調査対象地　　大県４丁目215－11
・調査期間　　1999年６月４日
・調査面積　　2.5㎡／55.15㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、生駒山地西麓部の西側に傾く緩斜面で大県廃寺（大里寺）の北側寺域内にあたる。直ぐ北側に東西方向の道路は宮川渓の小河道部分にあたり、その道路内の下水道工事に伴う発掘調査で寺院境目の溝や井戸を検出し、土師器や須恵器の他瓦類が多量に出土し大里寺の墨書土器も出ている。

当該地内に1.3×1.7mのトレンチを設定し、約0.9mまで掘削した。土層は、第１層茶灰色砂礫土（0.6～0.9m）、第２層灰白色砂質土（0.3m）である。各土層は後世の盛土で遺構遺物は検出されなかった。寺院の遺構面は、現地表からこの深度以上である。



図－６　大県廃寺９９－１次調査調査区位置図



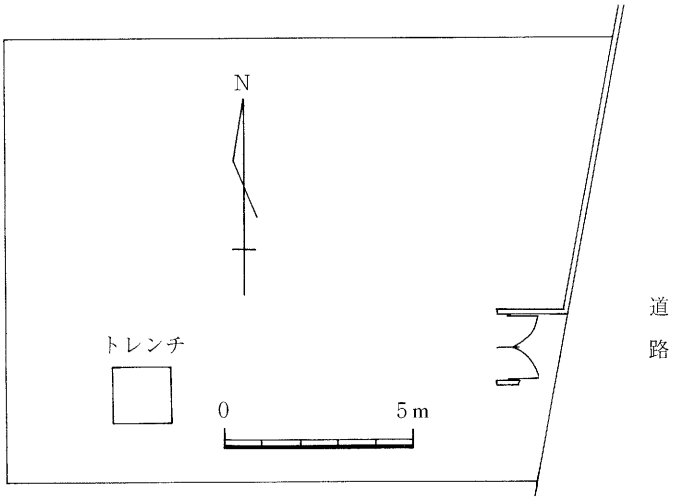
図－７　大県廃寺９９－１次調査平面図・断面図

第2章　大県南遺跡

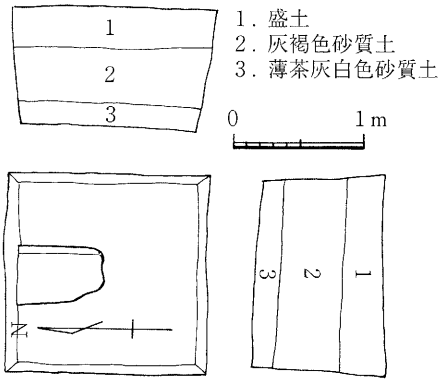
大県廃寺99－1次調査

・調査対象地　　大県４丁目362－5、6
・調査期間　　1999年１月25日～１月27日
・調査面積　　2.2㎡／178.00㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、大県南遺跡の西側向きの緩斜面地で遺跡中央部にあたる。東高野街道に近い丘陵よりである。調査は、調査区の南西部に1.5×1.5mのトレンチを１ヶ所設定し深さ0.9mまで掘削した。地表下約0.8mくらいまで新しい時期の盛土が施されており、この土層除去後にぶどう畑の旧表土を確認した。盛土下層に人力で動かせない大きな石が出土した。現地表に0.2～0.3cmの盛土を施し建築する予定であるのでこの深さまでの確認に止めた。土層断面観察は、地表下0.3cmで盛土が異なる土層である。旧表土は薄茶灰白色砂質土である。遺構・遺物は確認されなかった。

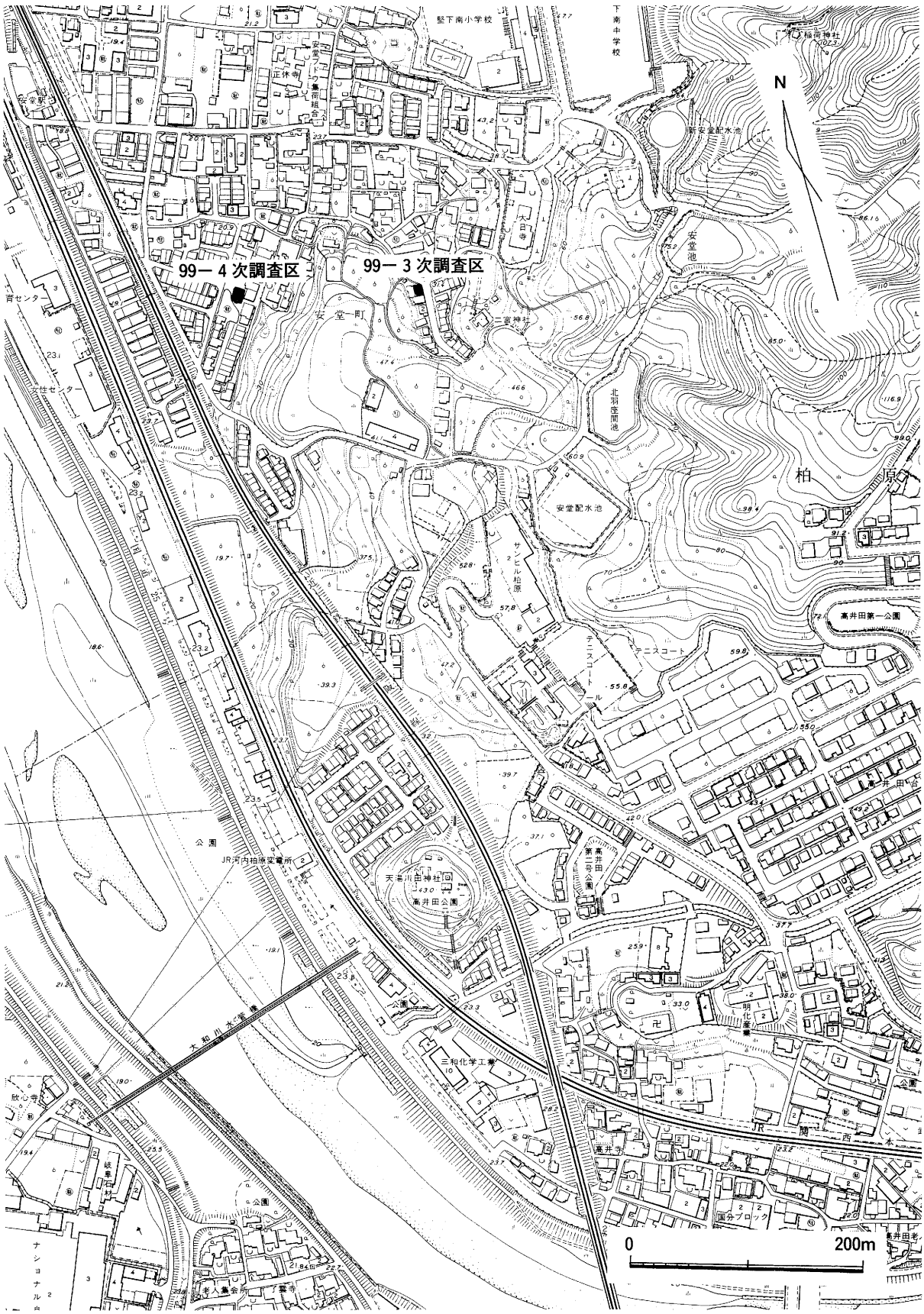


図－８　９９－１次調査調査区位置図



図－９　９９－１次調査平面図・断面図

第3章　安　堂　遺　跡

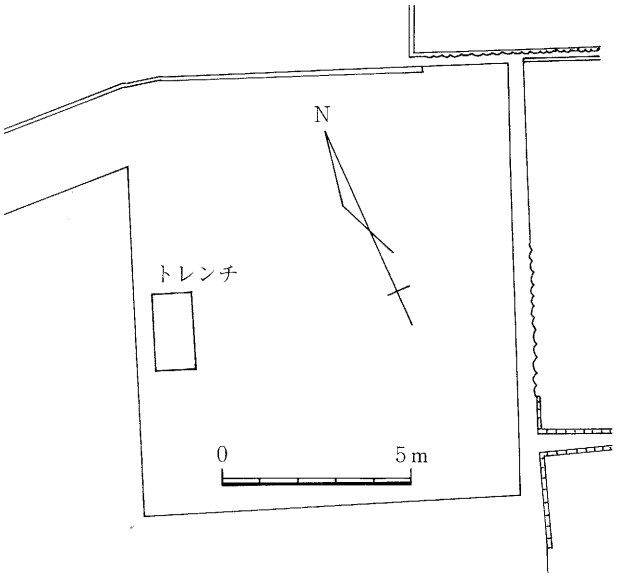


図－10　安堂遺跡調査対象地位置図

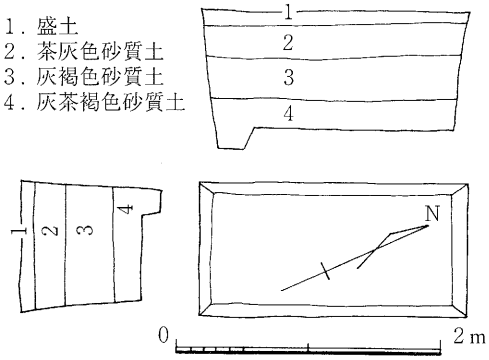
99－4次調査

・調査対象地　　安堂町263－3、261－1の一部
・調査期間　　1999年１月28日
・調査面積　　2.0㎡／135.21㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、直ぐ東側には丘陵部が迫り、安堂遺跡の南側にあたる傾斜のない平坦地である。当遺跡は縄文時代から近世まで続く集落遺跡で周辺部には古墳時代から中世までの遺構や遺物が重複して検出されている。当該地の南西部に1.0×2.0mのトレンチを１ヶ所設定し、約0.9mまで掘削した。土層は、第１層盛土(0.1m)、第２層茶灰色砂質土（約0.3m)、第３層灰褐色砂質土（約0.3m)、第４層灰茶褐色砂質土（0.4m以上）である。第２層は、近来の耕作土である。第３層には遺物はなかったが、第４層は古墳時代後期の土師器、須恵器などが少量出土した。建物基礎が遺物包含層まで達しないことや湧水が多いので調査を終了した。

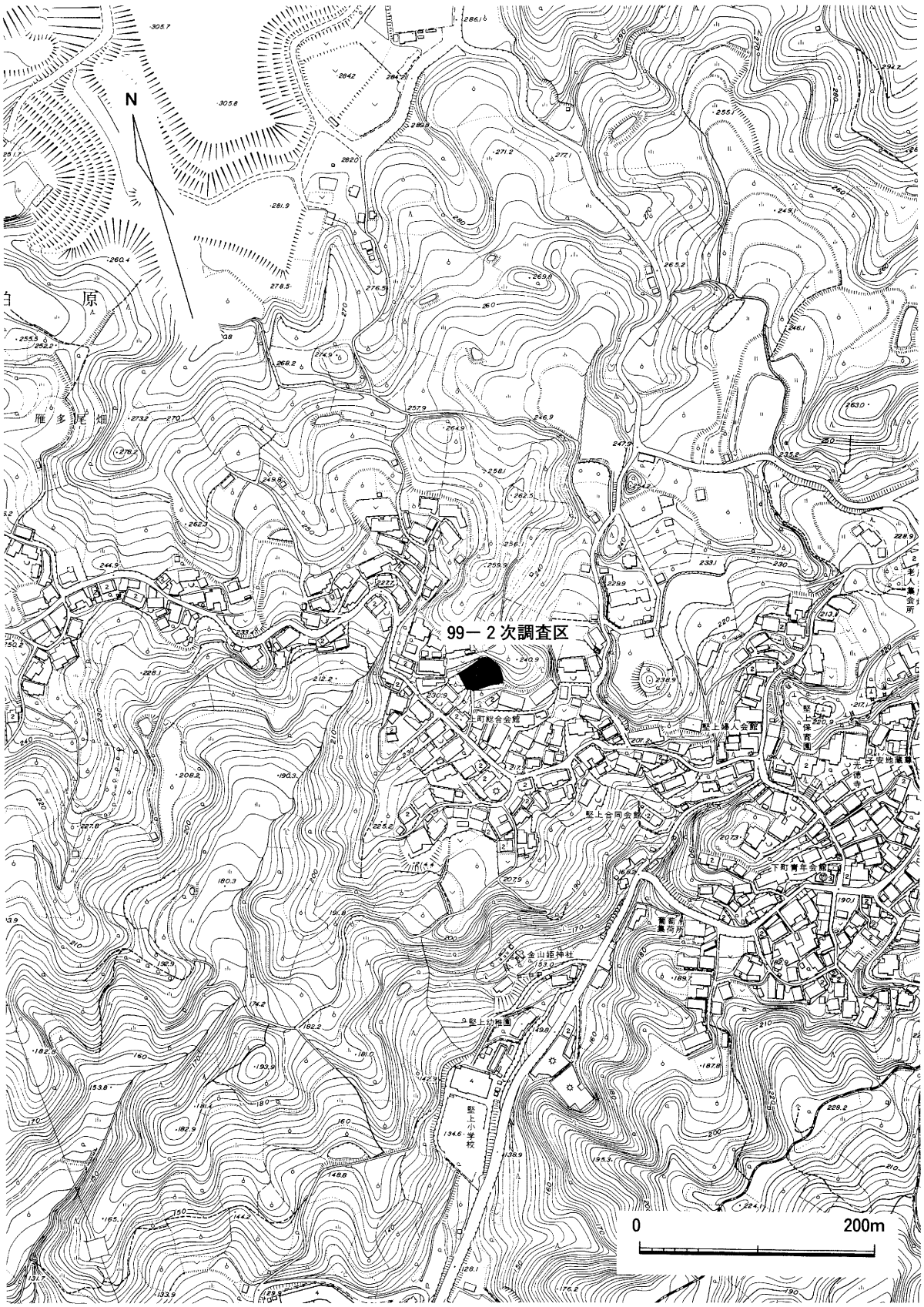


図－11　９９－４次調査調査区位置図



図－12　９９－４次調査平面図・断面図

第４章　平尾山古墳群

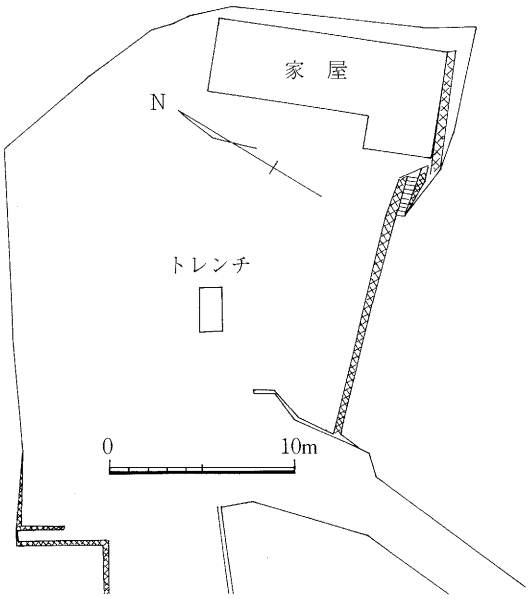


図－13　平尾山古墳群調査対象地位置図

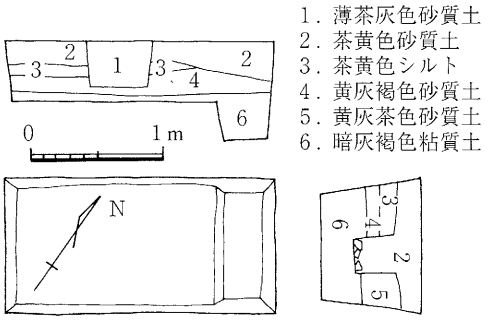
99－2次調査

・調査対象地　　雁多尾畑2279、2278、2283
・調査期間　　1999年３月10日
・調査面積　　2.0㎡／594.98㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、平尾山古墳群の平尾山支群北側丘陵の集落内にあり、光徳寺より西北西方向に約100mの場所にあたる。丘陵尾根の頂部近くの南東斜面である。旧家屋によって斜面地が平坦に造成されており、浄化槽が掘削される場所へ1.0×2.0mのトレンチを１ヶ所設定した。今回の住宅はかや葺き建物（約150年前建造）を壊しての建替えである。その建物以前は畑として使用されていたようである。約0.4mまで掘削し、部分的に約0.8mまで掘削した。土層断面は、第１層薄茶灰色砂質土は撹乱土、第２層茶黄色砂質土（約0.2m）、第３層灰黄色シルト（約0.1m）、第４層黄灰褐色砂質土（約0.1m）、第５層黄灰茶色砂質土（約0.3m）、第６層暗灰褐色粘質土（約0.4m）である。第４、５層は畑の表土と耕作土である。地山は茶灰色砂質土（花崗岩）がいずれの土層にも混入している。遺構と遺物は検出されなかった。



図－14　９９－２次調査調査区位置図



図－15　９９－２次調査平面図・断面図

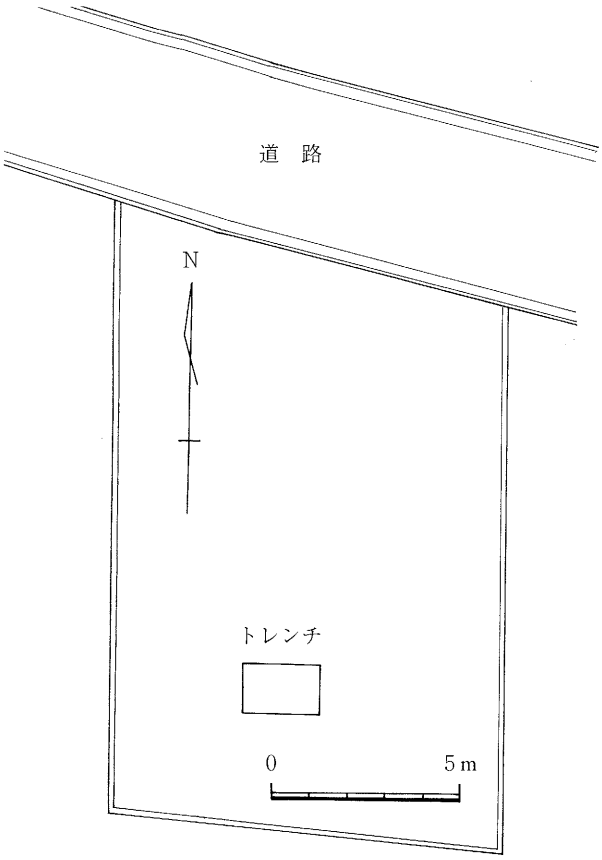
第5章　玉手山遺跡

図－16　玉手山遺跡・原山遺跡調査対象地位置図

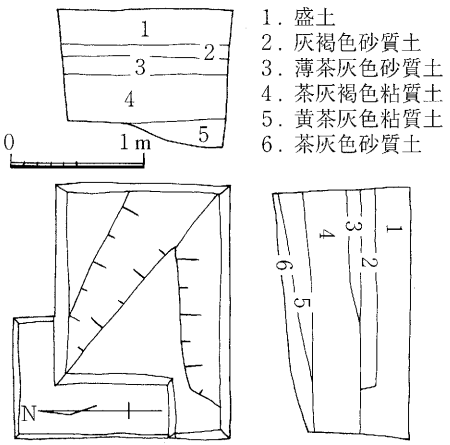
玉手山99－2次調査

・調査対象地　　旭ヶ丘１丁目506－4
・調査期間　　1999年１月26日
・調査面積　　2.5㎡／158.67㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、玉手山丘陵東側斜面地の原川沿いである。玉手山４～６号墳の東側で標高26m付近である。当該地の南側中央部に1.3×1.9mのトレンチを設定した。一部旧家屋の基礎が残されており、その部分は避けた。土層は、0.2～0.3mの盛土が施されてあり、旧表土である第２層灰褐色砂質土（約0.1m）、第３層薄茶灰色砂質土（約0.1m）、第４茶灰褐色粘質土（約0.3m）の遺物包含層等を約0.5m確認した。第４層には土師器、須恵器等の破片が出土した。遺構は、溝状の遺構を検出した。溝状遺構は、西側から東側に向いた落ち込みで北西方向と真西方向から伸びてトレンチ内で合流している。埋土は、黄茶灰色粘質土と茶灰色砂質土が約0.2mの厚さで堆積している。溝状遺構内からも遺物包含層と同時期の土師器、須恵器が出土した。時期は、７世紀後半と考えられる。



図－17　９９－２次調査調査区位置図

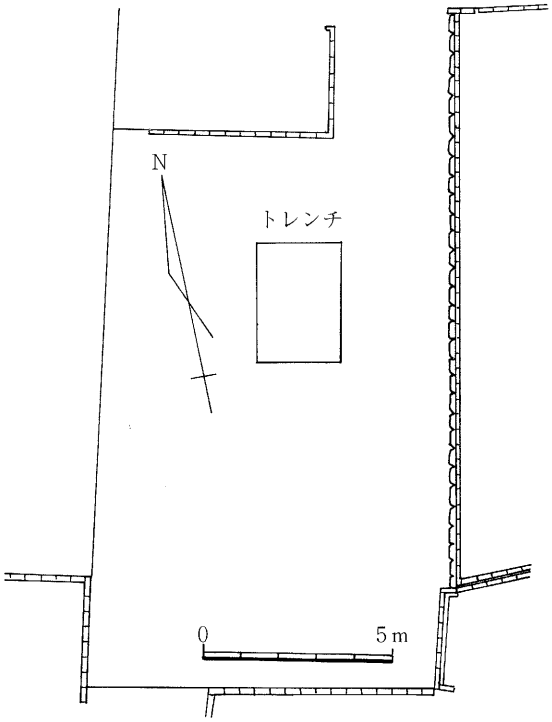


図－18　９９－２次調査平面図・断面図

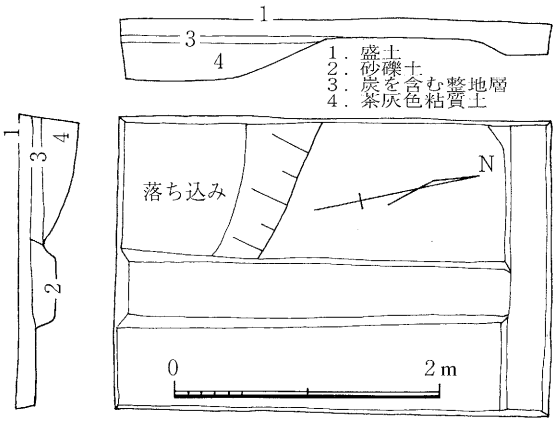
玉手山99－3次調査

・調査対象地　　片山町157－6、169－3
・調査期間　　1999年６月８日
・調査面積　　2.0㎡／144.58㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、片山廃寺の直ぐ西側に隣接する土地で寺院のある台地より一段（約1.0m）下がっている。当該地の北側に2.2×3.2mのトレンチを１ヶ所設定した。土層は、旧家屋の解体土である第１層盛土（約0.1m）、第２層礫層（0.2m）、第３層炭を含む版築状の整地層（約0.1m）、第４層茶灰色粘質土（約0.2m）がある。トレンチの北側と南北の中央部に旧家屋の基礎部分となる溝が入っている。基礎のコンクリートは取り去り下層の礫が遺存している。南西部に径1.0m以上の大きさの円形の落ち込みの一部があり、深さ0.2mを測る。第４層がその埋土で多くの礫（0.05～0.2m大）がある。底部は平坦である。遺物の出土がなく時期は不明である。



図－19　９９－３次調査調査区位置図

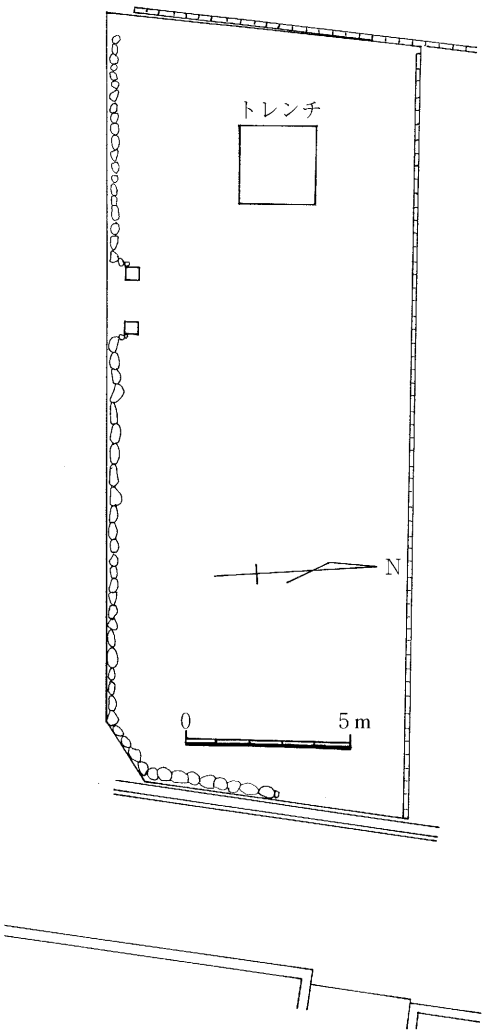


図－20　９９－３次調査平面図・断面図

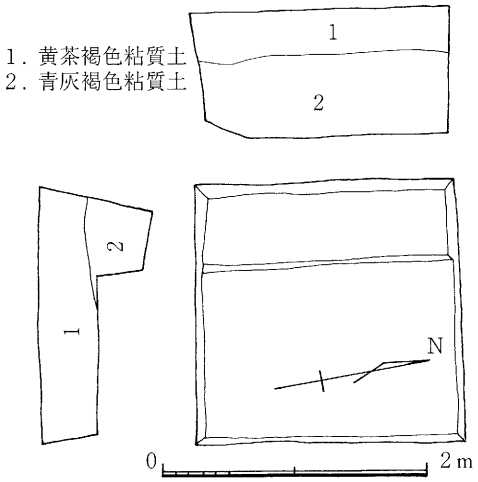
原山遺跡99-1次調査

・調査対象地　　旭ヶ丘３丁目9－11
・調査期間　　1999年５月６日
・調査面積　　4.0㎡／168.91㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、原山廃寺の東南部直ぐの場所にあたり、丘陵尾根の東側緩斜面にある。当該地は、東西に長い敷地の西端部に2.0×2.0mのトレンチを１ヶ所設定した。約0.4m掘り下げた段階で一部約1.0mまで確認の掘削を行った。土層は、第１層黄茶褐色粘質土（約0.3m）、第２層青灰褐色粘質土（約0.4m以上）である。何れも後世の盛土で近代の遺物が混入していた。伝聞によると溜め池を埋めた場所であるらしい。西側の隣接地では原山廃寺の流出した瓦が収集されている。

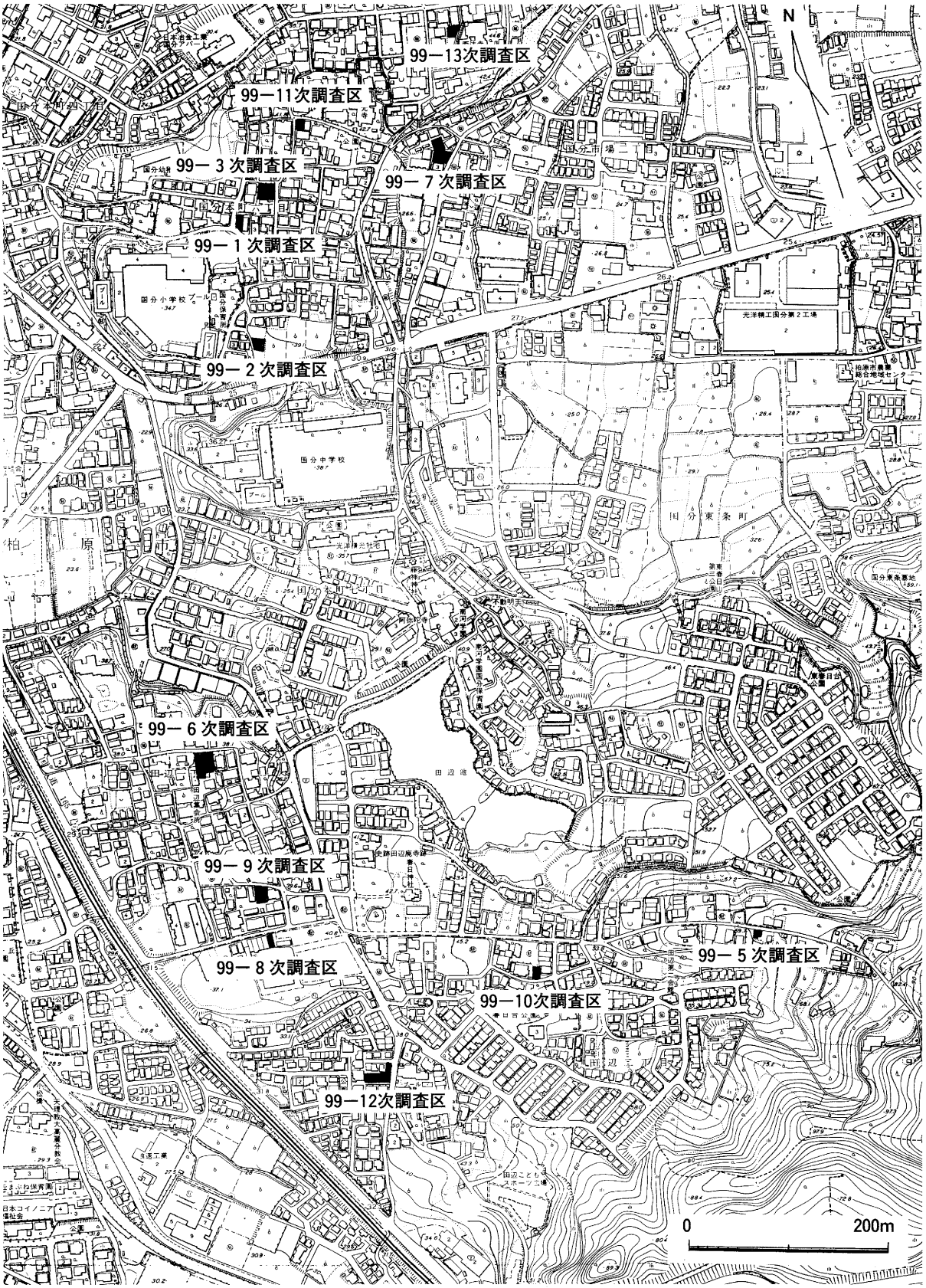


図－21　原山遺跡９９－１次調査調査区位置図



図－22　原山遺跡９９－１次調査平面図・断面図

第6章　田　辺　遺　跡

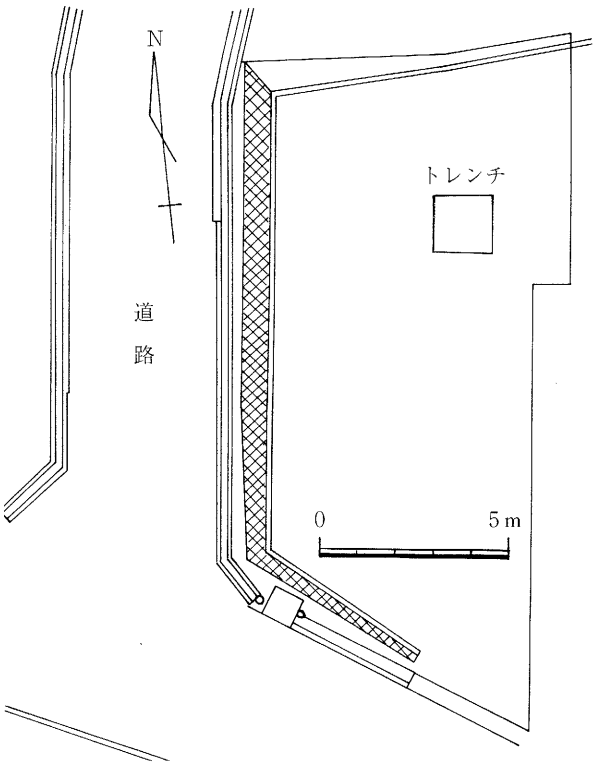


図－23　田辺遺跡調査対象地位置図

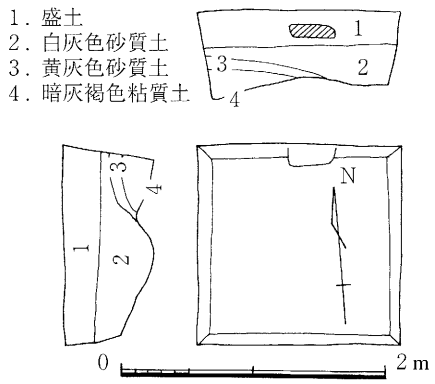
99－1次調査

・調査対象地　　国分本町６丁目695－1の一部
・調査期間　　1999年１月28日
・調査面積　　2.2㎡／130.07㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査は、田辺丘陵北側の国分小学校の近くである。その丘陵の縁辺部にあたり、当該地北側に1.5×1.5mのトレンチを１ヶ所設定した。当地区は５世紀代の古墳と７世紀代の鍛冶工房が集中して検出される。土層は、0.2m強の盛土があり、第２層白灰色砂質土（0.1～0.3m）、整地層と考えられる第３層黄灰色砂質土と第４層暗灰褐色粘質土（0.3m以上）を確認した。当地区に清水地蔵が南側に隣接しているが、古くそのお堂がこの場所に建築されていたときの整地層であると考えられる。整地層から江戸時代末期頃の瓦や鉄滓が出土した。鉄滓は、古墳時代後期の遺物が混入した可能性もある。整地層は、西側へ急激に傾斜しており、直ぐ西側に 大きな段差があり、擁壁なり石垣が施されていたと考えられる。



図－24　９９－１次調査調査区位置図

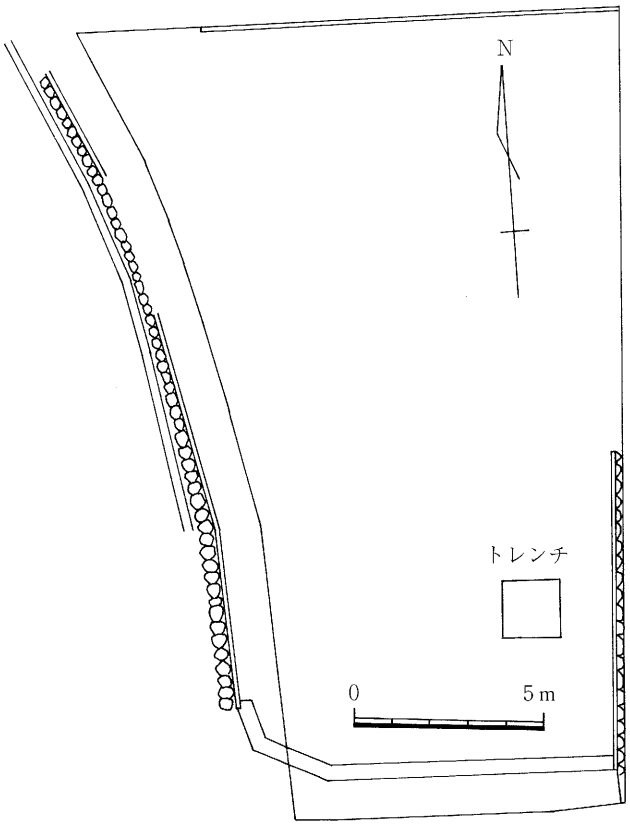


図－25　９９－１次調査平面図・断面図

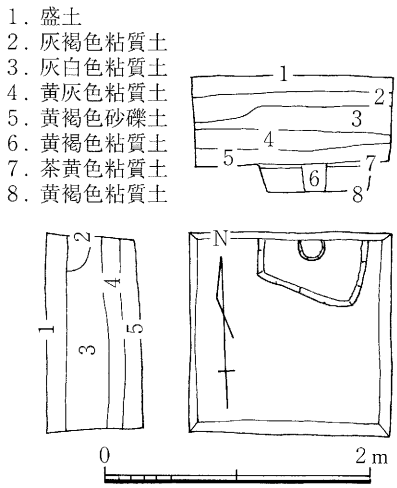
99－2次調査

・調査対象地　　国分本町６丁目802－2、802
・調査期間　　1999年３月８日
・調査面積　　2.2㎡／258.77㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、田辺丘陵の北側で国道26号線が比高差約６m急斜面下部に南接している。当該地内に1.5×1.5mのトレンチを１ヶ所を設定した。地表下約0.7mまで掘削し、地山を確認した。遺構は、方形の建物ピットを１ヶ検出した。ピットは、一辺0.8mの隅丸方形である。中央部に径0.2mの柱穴がある。土層は、第１層盛土（約0.1m）、第２層灰褐色粘質土（約0.1m）、第３層灰白色粘質土（約0.2m）、第４層黄灰色粘質土（約0.1m）、第５層黄褐色砂礫土（約0.1m）がある。遺物の出土がなく時期は明確でないが近隣の調査などから奈良時代前後であろうと推定される。



図－26　９９－２次調査調査区位置図

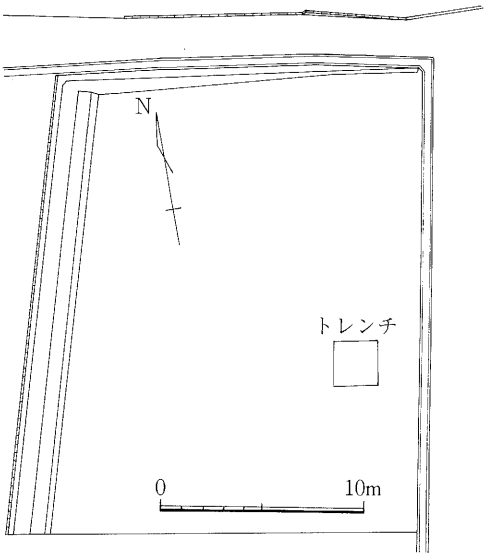


図－27　９９－２次調査平面図・断面図

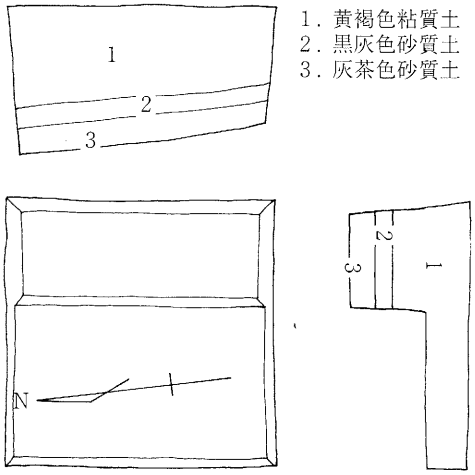
99－3次調査

・調査対象地　　国分本町６丁目3－9
・調査期間　　1999年３月15日～３月17日
・調査面積　　4.0㎡／389.24㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、田辺丘陵の北西側の縁辺部にあり、西側は傾斜を持ち盛土が施されている。当該地の東側に2.0×2.0mのトレンチを１ヶ所設定した。地表下約1.0mまで掘削した。土層は、第１層黄褐色粘質土（約0.7m)、第２層黒灰色砂質土（約0.1m)、第３層灰茶色砂質土（約0.2m）である。第１層は新しい時期の盛土である。東側から西側へと南側から北側へ緩く下向し、1.0mの距離に約0.1mの傾斜がある。地山は、黄褐色砂礫土である。遺構と遺物は検出されなかった。



図－28　９９－３次調査調査区位置図



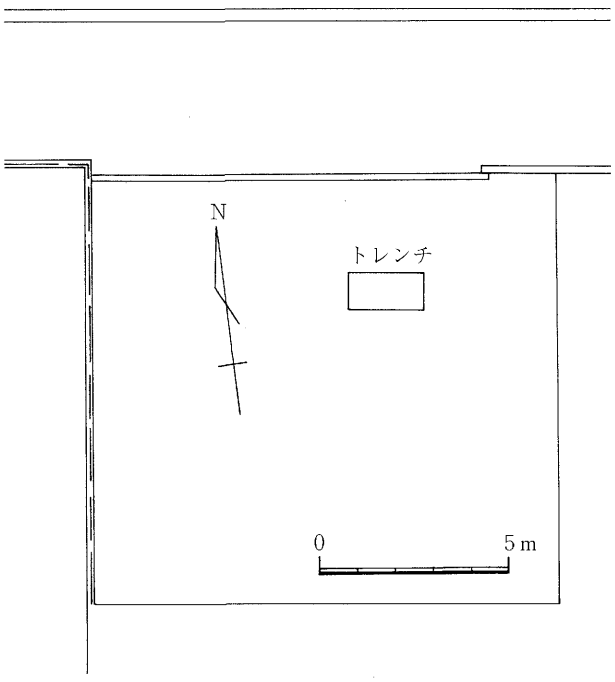
図－29　９９－３次調査平面図・断面図

99－5次調査

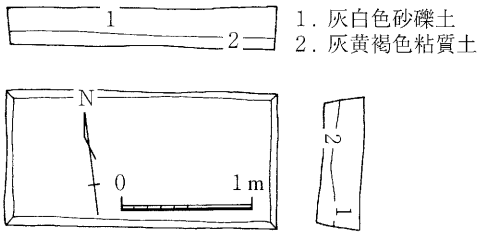
・調査対象地　　田辺２丁目10－16
・調査期間　　1999年４月19日
・調査面積　　2.0㎡／138.18㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、明神山系から西側方向に派生した尾根筋頂部付近の南側緩斜面地にある。この北側尾根には田辺古墳群と火葬墓群が見られる。低丘陵上には鉄器の鍛冶や青銅器、瓦など大規模な生産工房が営われている。南側の丘陵中央部に田辺廃寺があり、集落遺跡も多く検出されている。

当該地内の北側中央部に1.0×2.0mのトレンチを１ヶ所設定した。土層は、第１層表土及び灰白色砂礫土（0.15m）、第２層灰黄褐色粘質土（約0.1mで礫を少し含む）があり、表土下約0.3mで地山（黄褐色砂礫土）となる。地山は南へ傾き土層が厚く堆積している。遺構と遺物は検出されなかった。



図－30　９９－５次調査調査区位置図



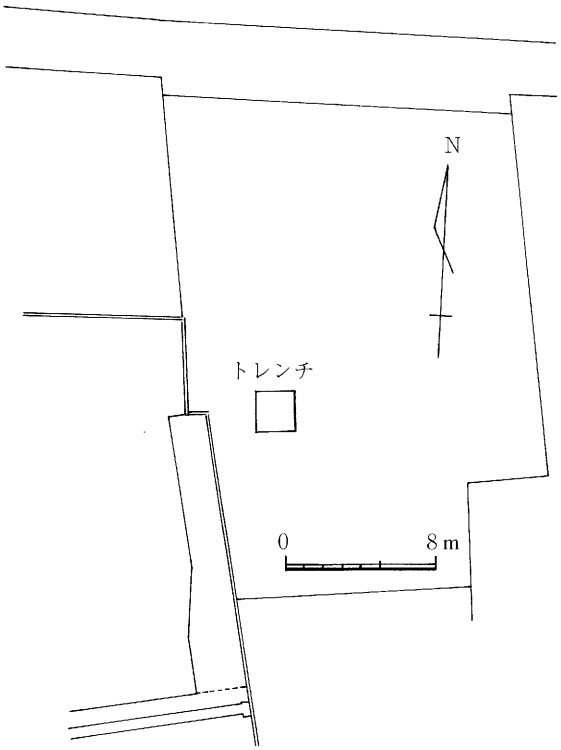
図－31　９９－５次調査平面図・断面図

99－6次調査

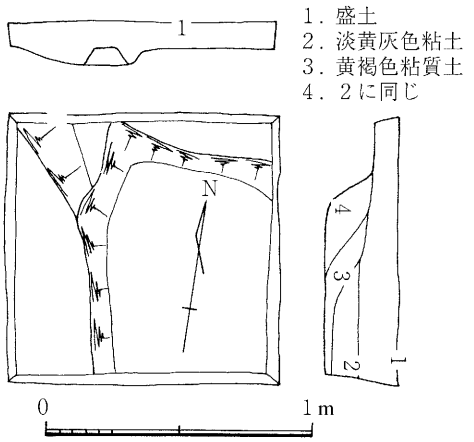
・調査対象地　　田辺１丁目1011、1012
・調査期間　　1999年5月7日
・調査面積　　4.0㎡／446.25㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、田辺丘陵の南側部の西方にあり、北側へ緩く傾く平坦地である。安定した丘陵部であるがこれまで集落になる遺構や遺物が少ない地区である。

当該地内の西端中央部に2.0×2.0mのトレンチを１ヶ所を設定した。北側端部は道路より高く盛土が施され南側になるに従いその厚さもなくなる。土層は、第１層旧家屋の解体時の土層で盛土（約0.2m）、第２層淡黄灰色粘土（約0.2m）、第３層黄褐色粘質土（約0.1m）がある。第２、３層は近世以降の不整形な落ち込みの埋土である。遺構・遺物は検出されなかった。また、調査区全体に遺物の収集は出来なかった。



図－32　９９－６次調査調査区位置図

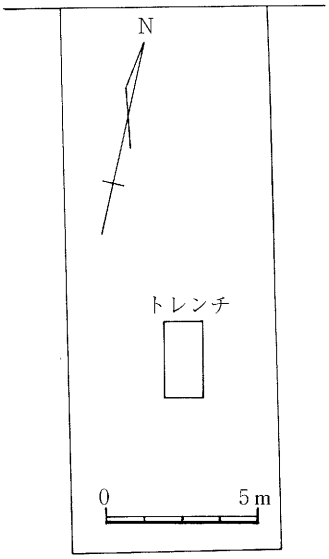


図－33　９９－６次調査平面図・断面図

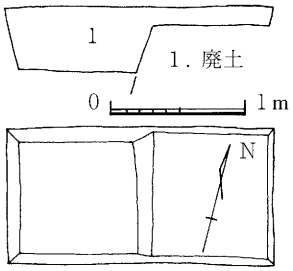
99－8次調査

・調査対象地　　国分本町
・調査期間　　1999年6月3日
・調査面積　　7.0㎡／79.33㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、田辺丘陵の南側で春日神社（田辺廃寺）から西側へ約100mの場所にある。当該地内に1.0×2.0mのトレンチを１ヶ所設定した。土層は、表土約0.1m除去後東側半分で地山（黄褐色粘質土で少し礫を含む）を確認した。旧家屋は、溜め池を埋めた後造成して建築したとの伝聞であり、西側部は深く落ち込み、溜め池の東端部であることが判明した。約0.5mまで掘削したが湧水がありさらに掘り下げは止めた。田辺廃寺近辺であることから当時の集落遺構が存在する可能性がある場所であるが後世の削平と撹乱によって消滅したと考えられる。



図－34　９９－８次調査区位置図

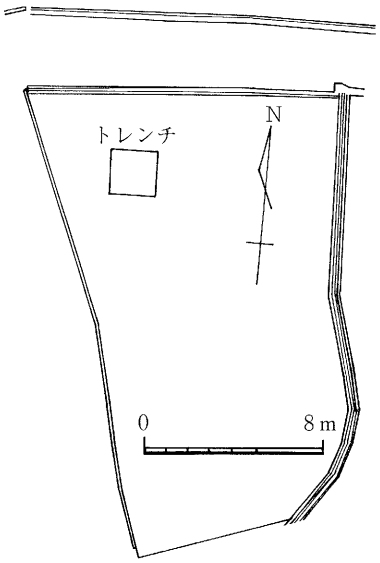


図－35　９９－８次調査平面図・断面図

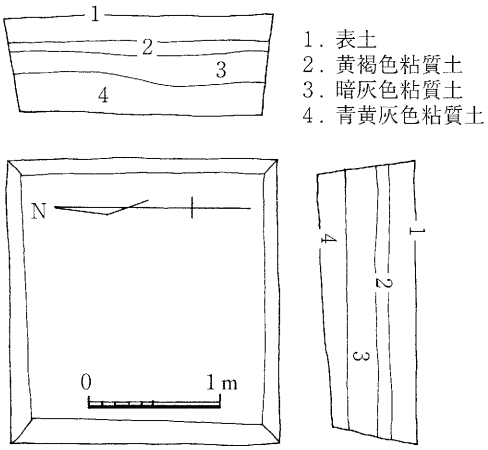
99－9次調査

・調査対象地　　田辺１丁目1101、1105、1117－1、－4
・調査期間　　1999年７月23日
・調査面積　　4.0㎡／229.49㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、田辺丘陵の南側にあり、春日神社（田辺廃寺）から西側へ100m、おいなり山古墳とは道路を隔てて南接している。当該地の北側中央部に2.0×2.1mのトレンチを１ヶ所設定した。土層は、第１層表土（0.2m）、第２層黄褐色粘質土（約0.1m）、第３層暗灰色粘質土（約0.2m）、第４層青黄灰色粘質土（0.3m以上）である。この段階で盛土と考えられたのでさらに部分的に掘削したが盛土であることを確認した。この盛土は、溜め池を埋めた新しい時期の埋土であることが分った。基礎が浅く影響がないので慎重工事の指示をした。



図－36　９９－９次調査調査区位置図

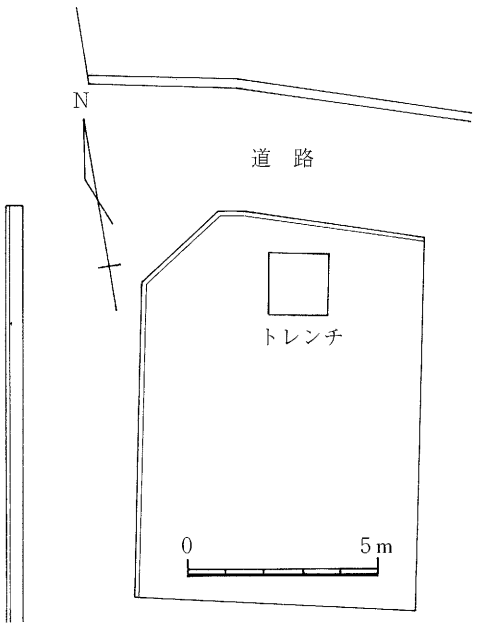


図－37　９９－９次調査平面図・断面図

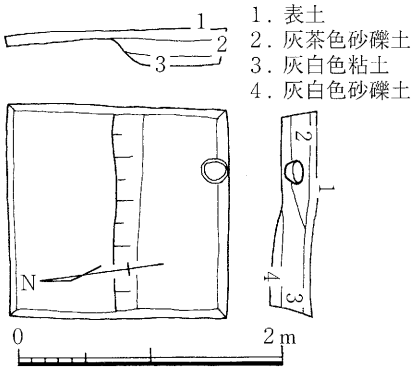
99－11次調査

・調査対象地　　国分市場１－６－１－２－505
・調査期間　　1999年９月９日
・調査面積　　2.2㎡／72.77㎡
・調査担当者　　北野　重

当調査区は、田辺丘陵の北側部にあたり奈良街道より少し南側の丘陵縁辺部にあたる。
当該地北側中央部に1.6×1.6mのトレンチ１ヶ所を設定した。土層は、表土約0.1mを掘り下げた段階で北側半分は直ぐ地山を確認した。南側は落ち込みとなり、東西方向の肩部を検出した。落ち込みは、東西1.6m、南北0.8m以上、深さ0.3mで、埋土が２層あり、上層（第２層）が灰茶色砂礫土、下層（第３、４層）灰白色粘土と灰白色砂礫土である。
落ち込み内から出土した遺物は、土師器、須恵器、埴輪、陶磁器、鉄滓等がある。土師器の鉢は、円形平底で底部に３方向の台脚が付いた痕跡があり、内外に判読不明であるが墨書の痕跡がある。口径18cm、底径14.4cm、高さ6.3cmを測る。時期は新しい遺物も含まれ限定出来ないが江戸時代以降と考えられる。須恵器は古墳時代以降の甕片である。埴輪は、円筒埴輪は５世紀代の時期のたがを持つ破片である。また、鉄滓も１ヶ出土した。時期は限定出来ない。



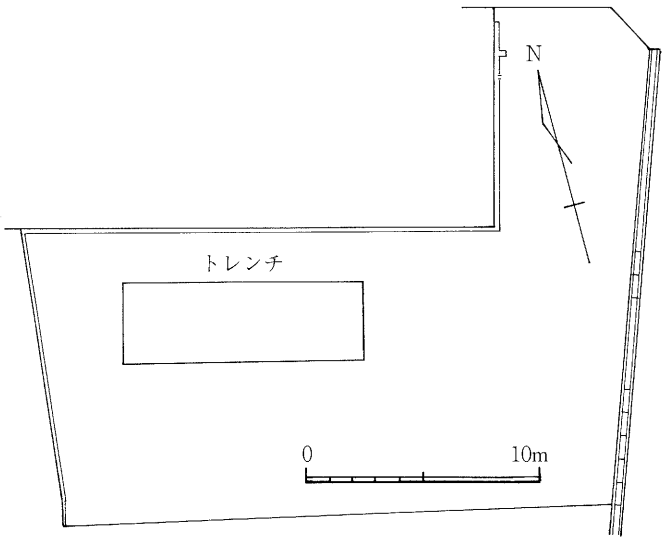
図－38　９９－11次調査調査区位置図



図－39　９９－11次調査平面図・断面図

99－12次調査

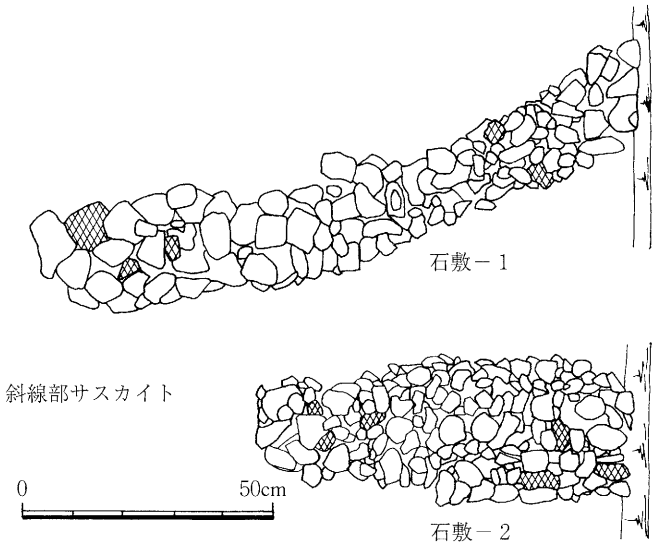
・調査対象地　　田辺２丁目1237－3、－4
・調査期間　　1999年12月13日～12月28日
・調査面積　　27.0㎡／365.98㎡
・調査担当者　　北野　重



図－40　９９－12次調査調査区位置図

当調査区は、田辺丘陵南側の安定した尾根筋中央部にあり、史跡田辺廃寺より南側へ約130mの場所にあたり、周辺地域の調査で主に奈良時代を中心とした時期の集落遺構が検出されている。田辺廃寺の位置する丘陵は、明神山系に連なる。当該地は、東西方向に長い調査区の北側中央部に南北方向3.0m、東西方向8.0mの長方形トレンチを設定した。

土層は、第１層表土（約0.1m弱）、第２層黒褐色粘質土（0.1m）、第３層暗黄褐色粘質土（0.1m）、第４層黄灰色粘質土・礫土（約0.2m）、第５層青黄灰色粘質土（約0.2m）、第６層黄褐色粘性砂質土（約0.1～0.2m以上）、第７層淡茶黄褐色粘質土（0.2m）がある。第１層は、旧家屋の非常に堅く締まった整地層である。第２層は、多くの炭を含んだ土坑に埋め込んだ新しい埋土である。第３層は、地山（第９層）の掘削した二次堆積土で堅く築固めてある。第４層は石敷１、２の埋土で大部分は石が詰まっている。第５層は奈良時代前後の遺物包含層で土師器、須恵器の破片が出土した。第６層は、第５層と同様の遺物包含層である。第７、８層は、それぞれピットと土坑の埋土である。第９層は地山である。



図－41　９９－12次調査石敷１・２平面図

遺構は、石敷２、溝１、ピット５、土坑１が検出された。

石敷－１は、調査区の東側に南北方向から南側になるに従い南西方向に向けて緩く折れ曲がっている。調査区の北側端部から0.5mの場所から始まり約2.5m伸びている。幅は、0.5～0.6m、深さ約0.2mである。石は、河原石とサヌカイトの他、自然石を主に密着して詰めている。石の

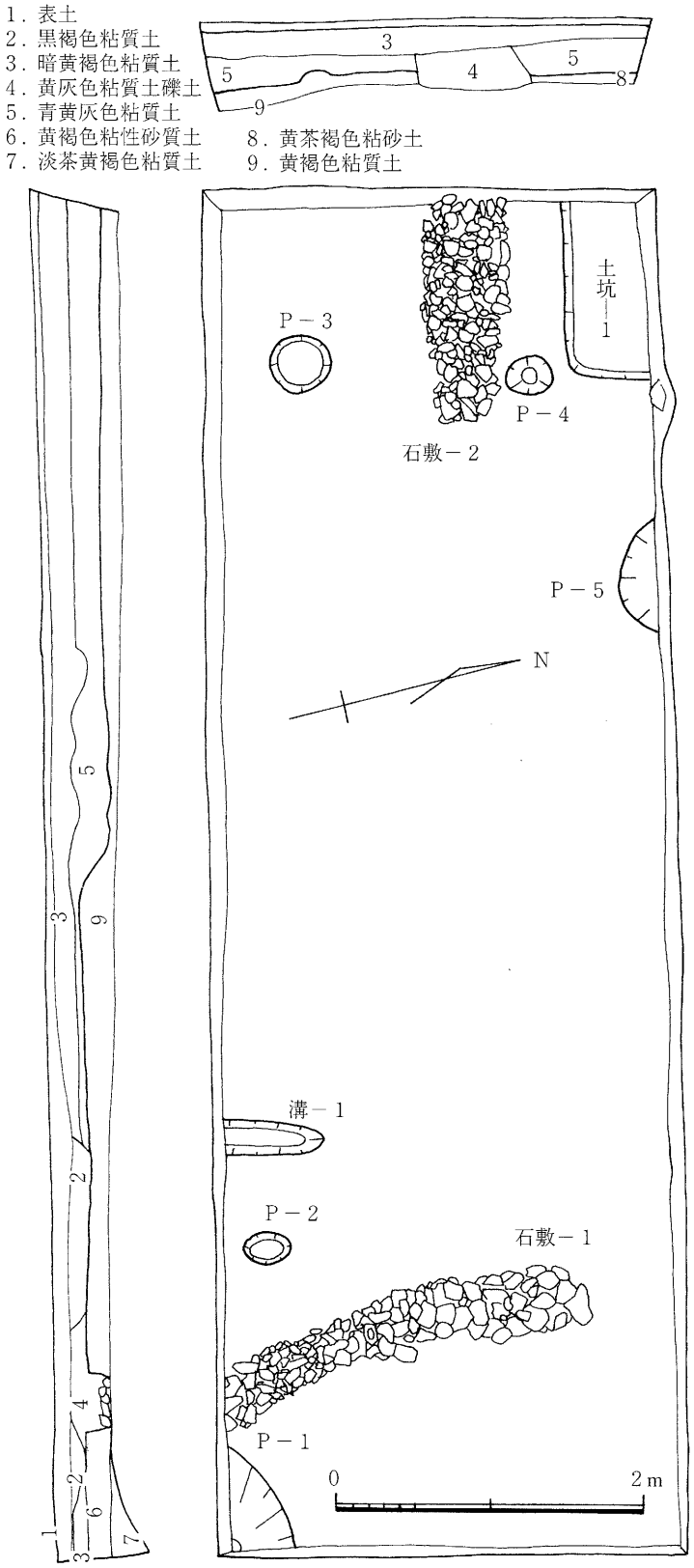
大きさは、大きいもので0.3～0.4m、小さいもので0.1m位である。第２層を掘り窪めて溝状に石を詰めた暗渠と考えられる。その底部は北側から南東方向に下向している。

石敷－２は、西側端部に東西方向に真直ぐ伸びた石敷で、西側へ伸びている。長さ1.5m、幅0.6m、深さ約0.3mである。石の大きさや種類、入れ方は石敷１と同様である。

溝－１は、第２層の底部に掘り窪めた新しい時期の溝である。長さ0.8m、幅0.2mを測る。

ピットは、径0.3～0.7mの円形ピットでその性格は明瞭でないが、建物に関係する可能性がある。

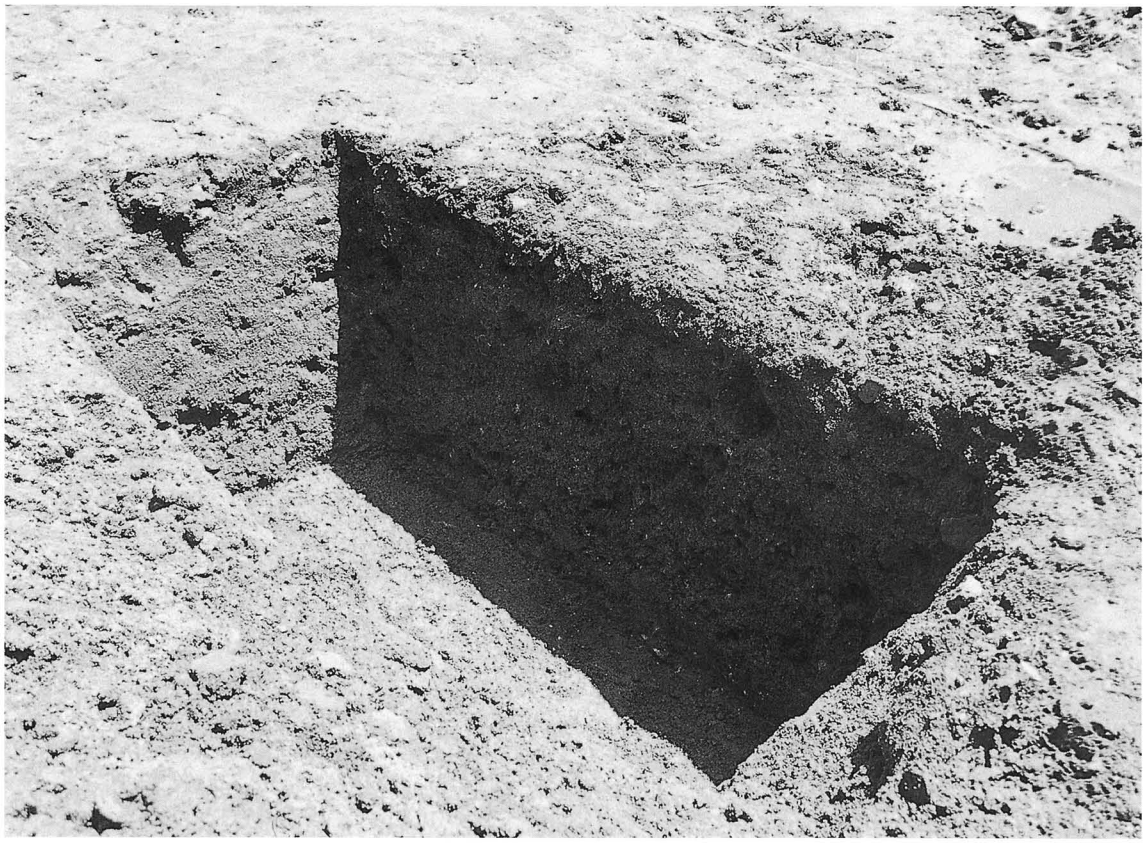
土坑－１は、北西隅部に隅丸方形の土坑で底部が平坦である。南北0.5m以上、東西1.1m以上、深さ0.1mを測る。各石敷内にサヌカイトの剥片が出土し、ほとんどが自然石であるが古い時期の加工面があるものも見られる。



図－42　９９－12次調査平面図・断面図

図　　版

図版一　大県遺跡99—1次調査

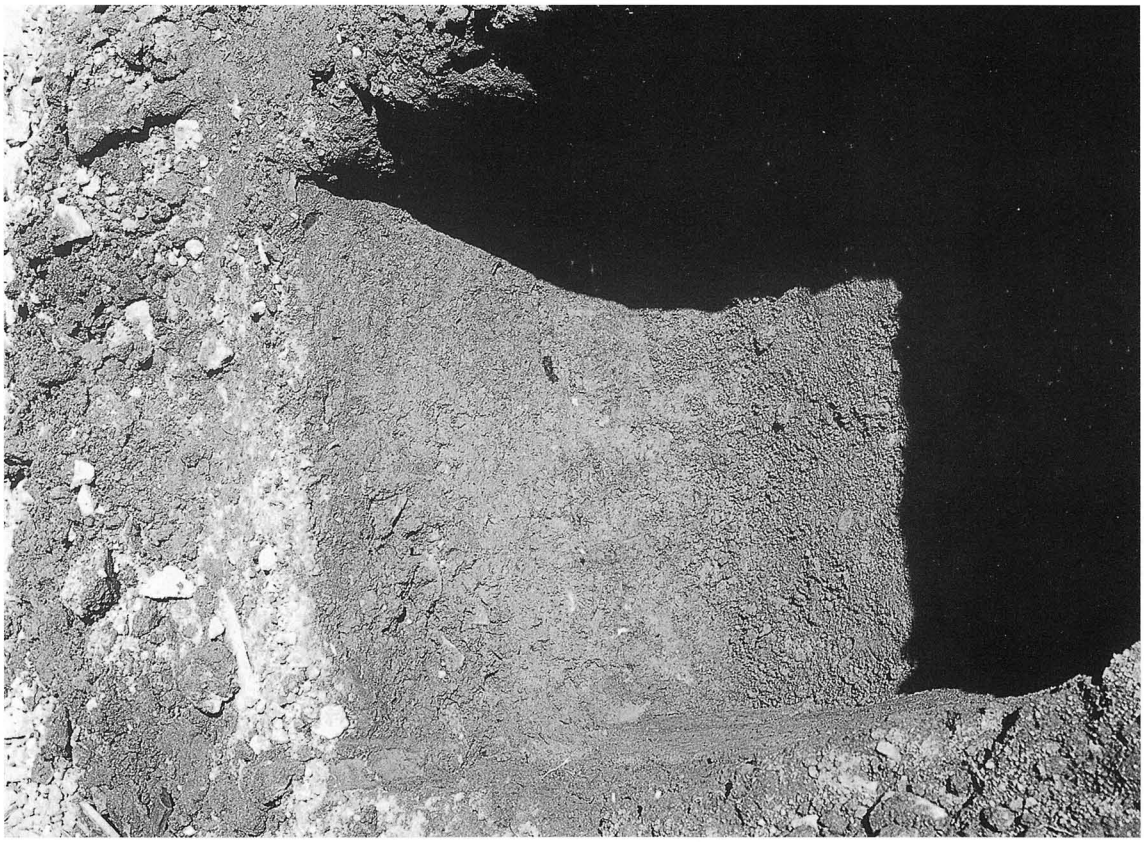


全景

全景

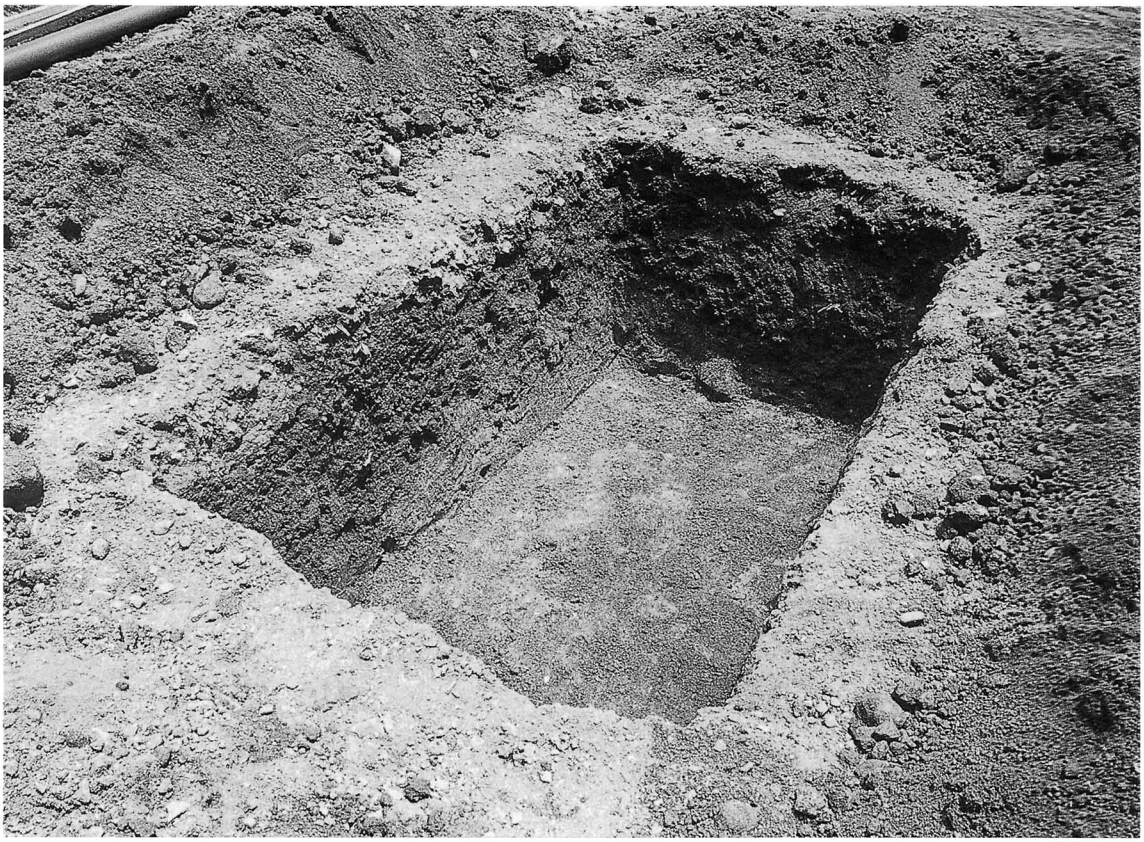
図版二　大県遺跡99—2次調査

全景



土層断面

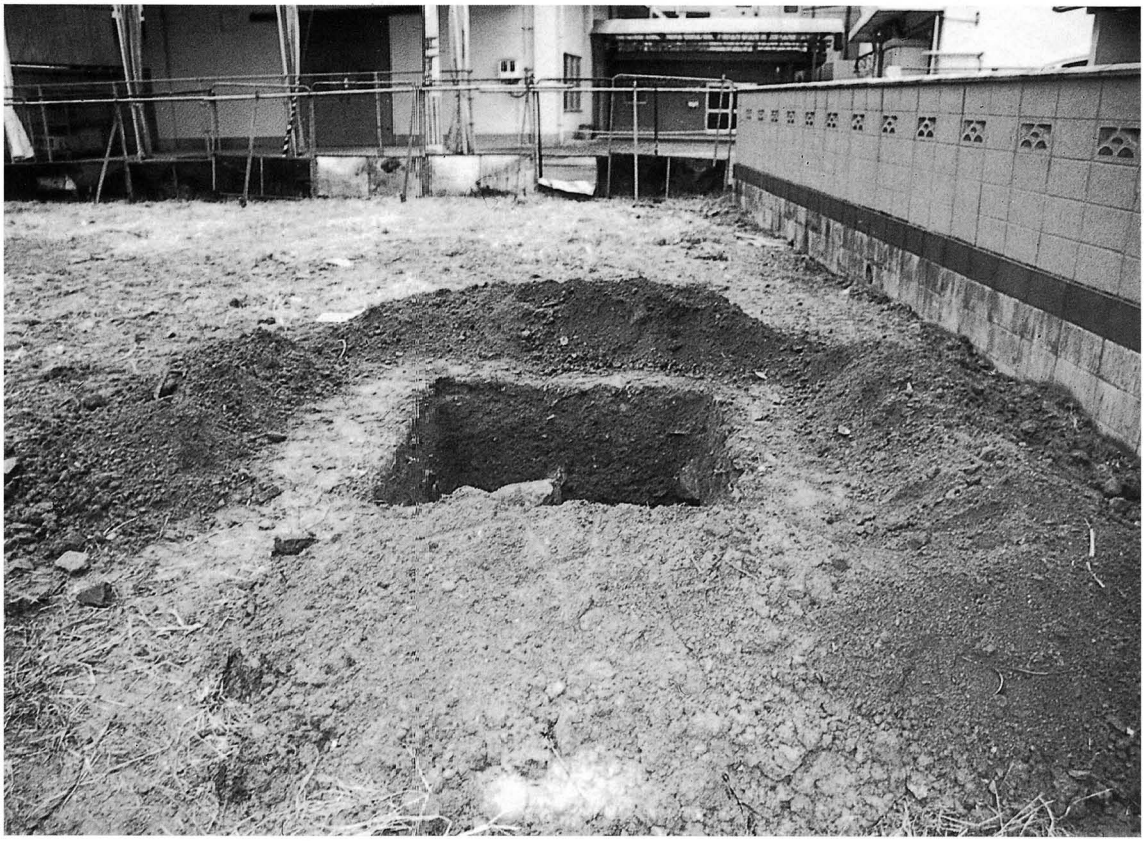
図版三　大県廃寺99—1次調査



全景

全景

図版四　大県南遺跡99—1次調査



全景

全景

図版五　安堂遺跡99—4次調査

全景

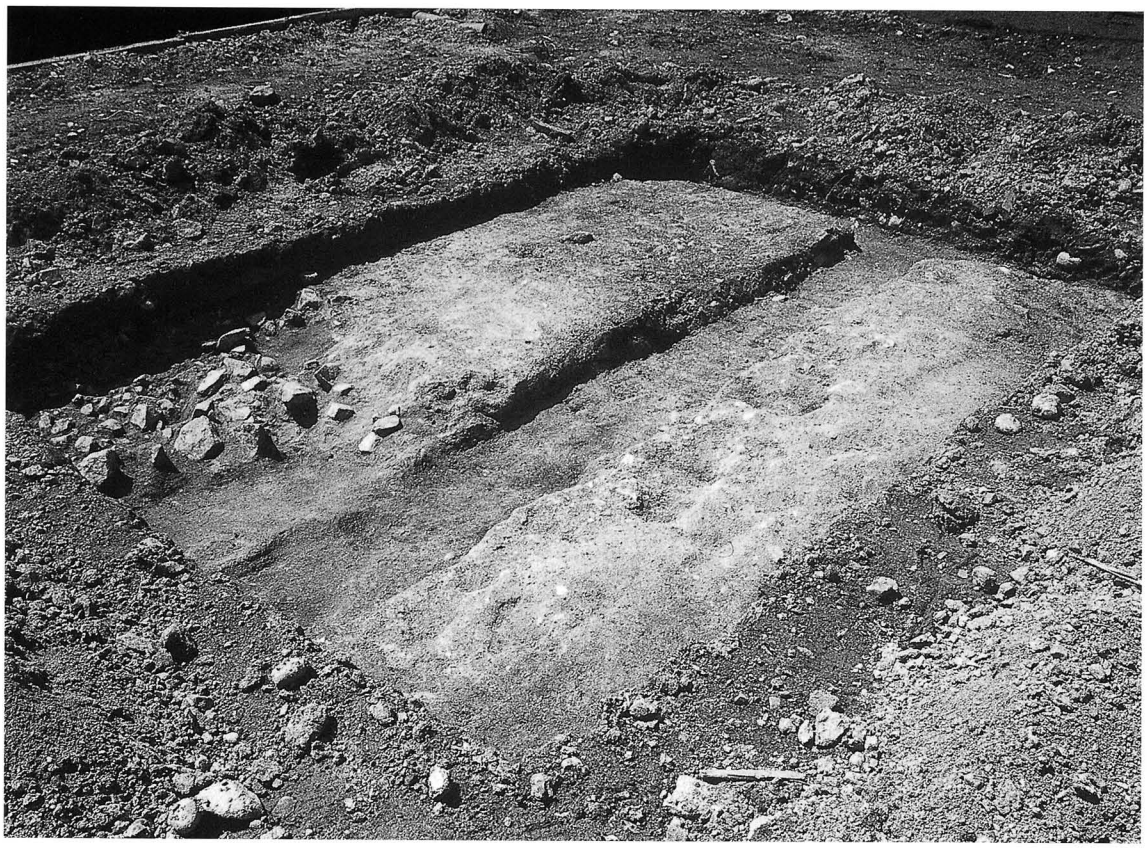
土層断面

図版六　玉手山遺跡99—2次調査

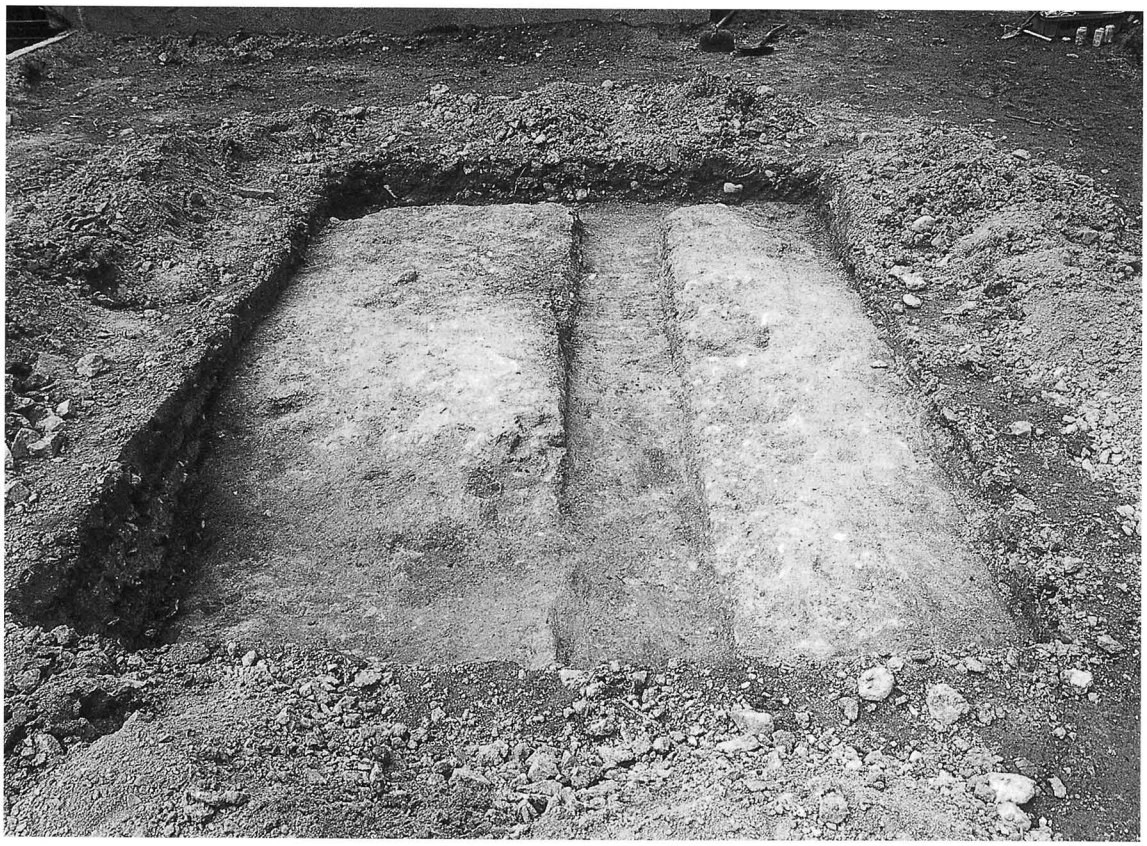
全景

全景

図版七　玉手山遺跡99—3次調査



全景



全景

図版八　玉手山遺跡99—3次調査

落ち込み

落ち込み

図版九　原山遺跡99—1次調査

全景

土層断面

図版十　田辺遺跡99—1次調査

全景

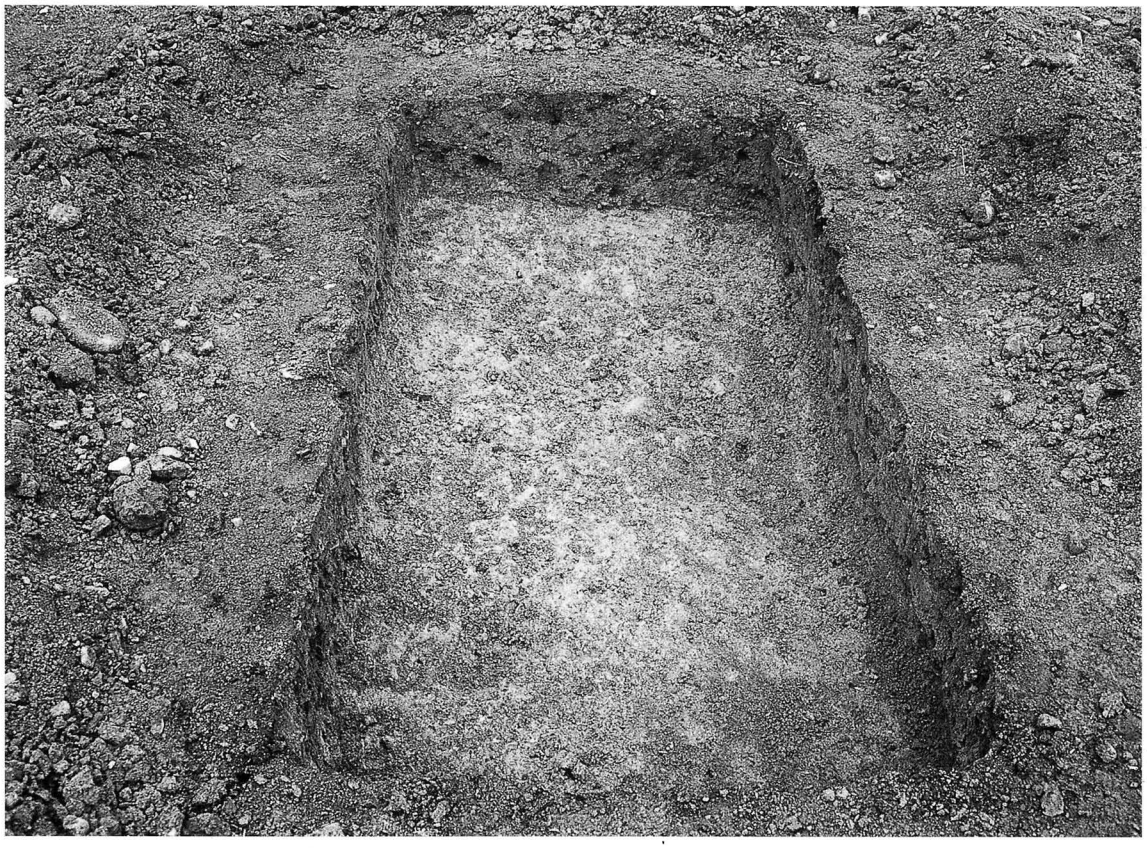
土層断面

図版十一　田辺遺跡99—3次調査

全景

全景

図版十二　田辺遺跡99—5次調査

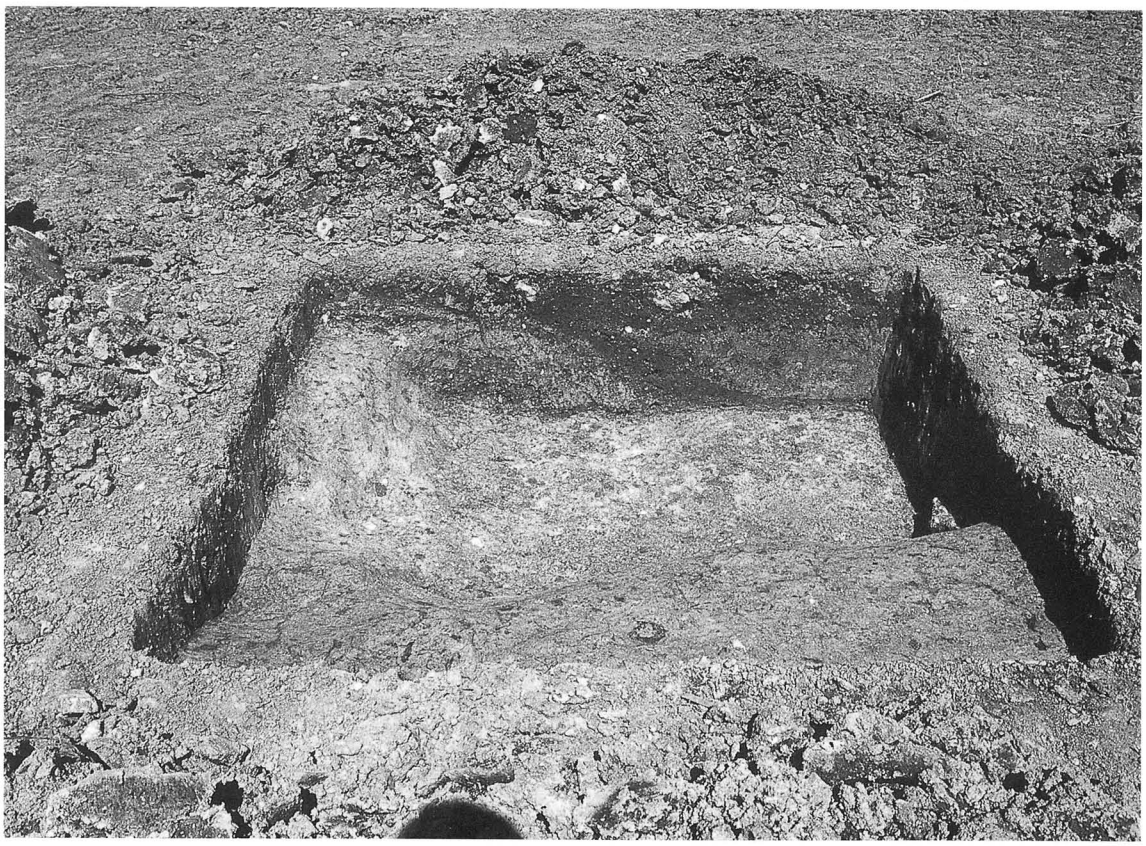


全景

全景

図版十三　田辺遺跡99—6次調査

全景



全景

図版十四　田辺遺跡99—8次調査

全景

全景

図版十五　田辺遺跡99—9次調査

全景

全景

図版十六　田辺遺跡99—11次調査

全景

全景

図版十七　田辺遺跡99—11次調査

土層断面

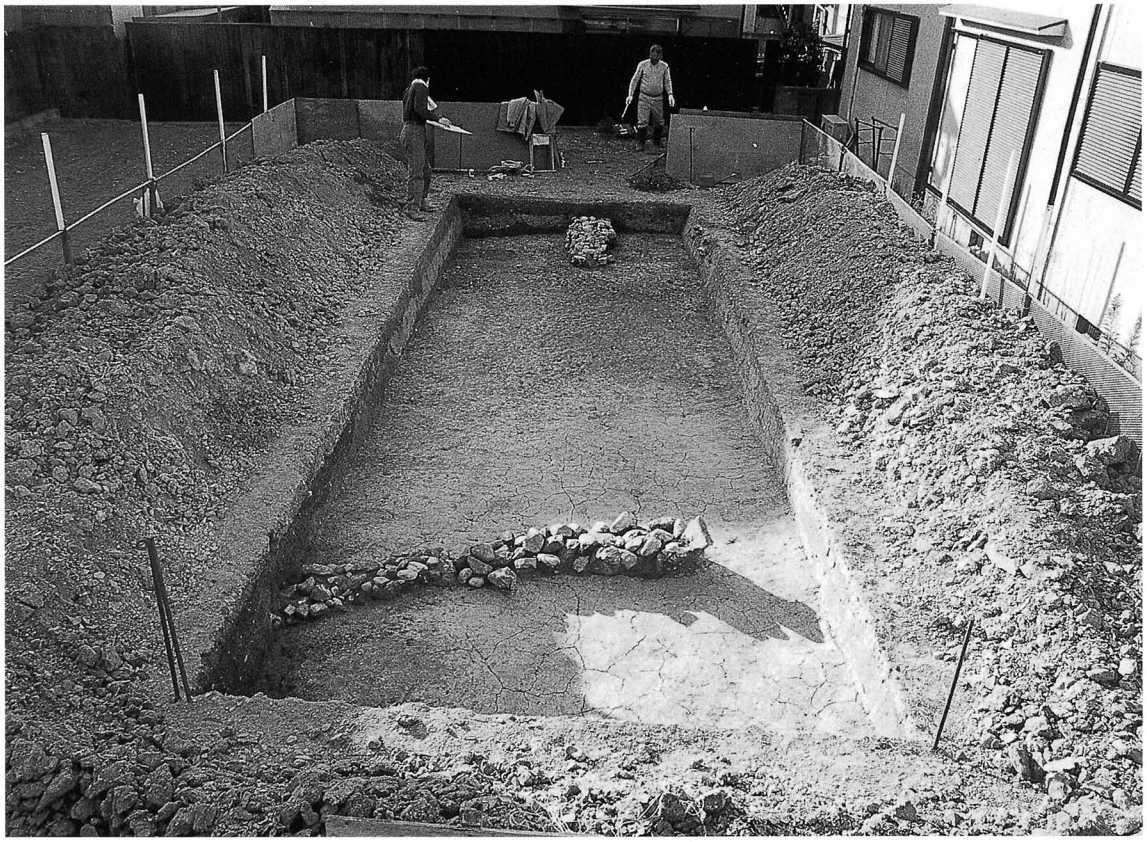
土層断面

図版十八　田辺遺跡99—11次調査

遺物出土状況

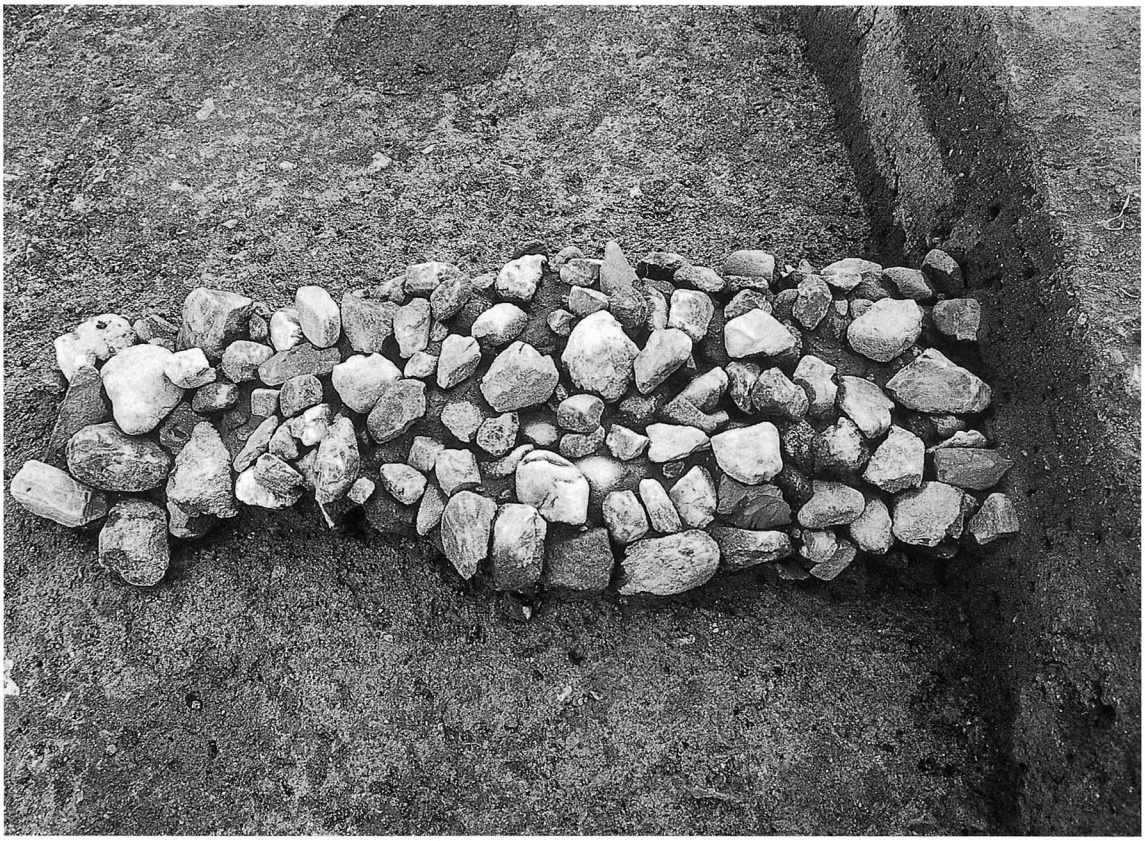
遺物出土状況

図版十九　田辺遺跡99—12次調査

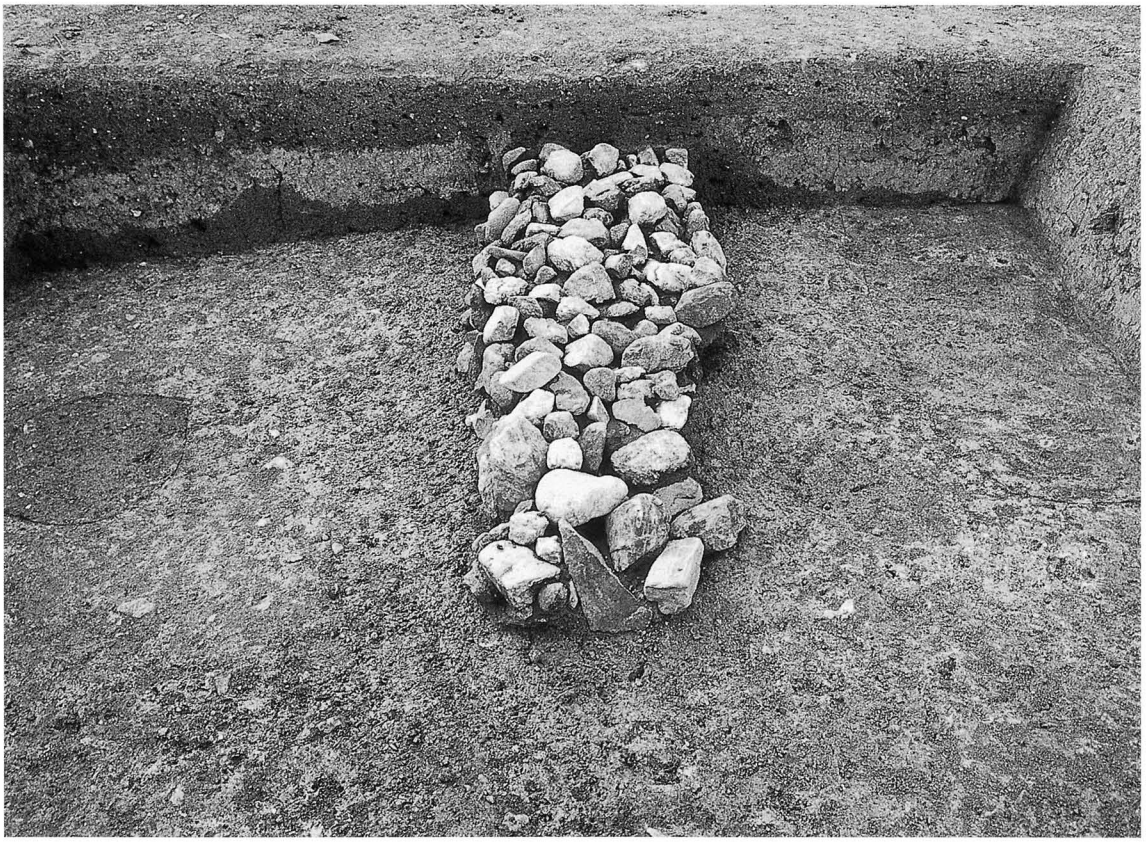


全景

東半部



石敷—2



石敷—2

図版二十一　田辺遺跡99—12次調査

土坑—1

ピット—4

図版二十二　田辺遺跡99—12次調査

土層断面

土層断面

報　告　書　抄　録

ふりがな	かしわらしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいほう
書名	柏原市埋蔵文化財発掘調査概報１９９９年度
副書名	
巻次	
シリーズ名	柏原市文化財概報
シリーズ番号	１９９９－Ⅰ
編著者名	北野　重
編集機関	柏原市教育委員会
所在地	〒582-8555　大阪府柏原市安堂町１番43号　　TEL0729－72－1501
発行年月日	２０００年３月３１日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′	東経 °′	調査期間	調査面積 m^2	調査原因
大県遺跡	大阪府柏原市 大県４丁目	3E＋04	OG 99－1	34度 35分 15秒	135度 38分 12秒	19990621	２．２	個人住宅建設
大県遺跡	平野２丁目	27221	OG 99－2	34度 35分 12秒	135度 38分 10秒	19991110	１．８	個人住宅建設
大県廃寺	大県４丁目	27221	OGT 99－1	34度 35分 20秒	135度 38分 ５秒	19990604	２．５	個人住宅建設
大県南遺跡	大県４丁目	27221	OGM 99－1	34度 35分 ５秒	135度 38分 ５秒	19990125～ 19990127	２．２	個人住宅建設
安堂遺跡	安堂町	27221	AD 99－4	34度 35分 30秒	135度 38分 ３秒	19991029	２．０	個人住宅建設
平尾山古墳群	雁多尾畑	27221	HYK 99－2	34度 35分 ３秒	135度 39分 58秒	19990310	２．０	個人住宅建設
玉手山遺跡	旭ヶ丘１丁目	27221	TY 99－2	34度 33分 38秒	135度 38分 10秒	19990126	２．５	個人住宅建設
玉手山遺跡	片山町	27221	TY 99－3	34度 33分 59秒	135度 38分 ２秒	19990608	２．０	個人住宅建設

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所　在　地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′	東経 °′	調査期間	調査面積 m²	調査原因
原山遺跡	旭ヶ丘3丁目	27221	HY 99－1	34度 33分 18秒	135度 38分 15秒	19990506	4.0	個人住宅建設
田辺遺跡	国分本町6丁目	27221	TB 99－1	34度 33分 48秒	135度 38分 38秒	19990128	2.2	個人住宅建設
田辺遺跡	国分本町6丁目	27221	TB 99－2	34度 33分 42秒	135度 38分 35秒	19990308	2.2	個人住宅建設
田辺遺跡	国分本町6丁目	27221	TB 99－3	34度 33分 45秒	135度 38分 37秒	19990315～ 19990317	4.0	個人住宅建設
田辺遺跡	田辺2丁目	27221	TB 99－5	34度 33分 25秒	135度 38分 53秒	19990419	2.0	個人住宅建設
田辺遺跡	田辺1丁目	27221	TB 99－6	34度 33分 30秒	135度 38分 33秒	19990507	4.0	個人住宅建設
田辺遺跡	国分本町4丁目	27221	TB 99－8	34度 33分 25秒	135度 38分 38秒	19990603	7.0	個人住宅建設
田辺遺跡	国分本町6丁目	27221	TB 99－11	34度 33分 50秒	135度 38分 40秒	19990909	2.2	個人住宅建設
田辺遺跡	田辺2丁目	27221	TB 99－12	34度 33分 20秒	135度 38分 42秒	19991213～ 19991228	27.0	個人住宅建設

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主　な　遺　物	特記事項
安堂遺跡	集　落	古墳時代	なし	土師器、須恵器	
玉手山遺跡	集　落	飛鳥時代	溝	土師器、須恵器	
田辺遺跡	集　落	奈良時代	ピット	土師器、須恵器、鉄滓サヌカイト	

柏原市埋蔵文化財発掘調査概報

１９９９年度

編集・発行　柏原市教育委員会
〒582-8555　大阪府柏原市安堂町1番43号
電話0729-72-1501内線5133
発行年月日　平成12年３月31日
印　　刷　古賀印刷株式会社